東京女子高等師範學校附屬高等女學校　五百四十四

目的　本校は女子高等普通教育の方法を研究をなし女子高等師範學校の生徒をして女子教育の方法を練習せしむる處とす

學科　左の如し

修身、國語、外國語、歷史、地理、數科、理科、圖畫、家事、裁縫、音樂、體操、

（隨意科教育）

專攻科　の設あり、學科を第一部と第二部と分つ左の如し

第一部（修身、家事、教育、國語、外國語、數學、理科、體操、

（隨意科＝裁縫、手藝、習字、圖畫、音樂、割烹）

第二部（修身、家事、教育、國語、外國語、歷史、地理、體操、

（隨意科＝第一部に同じ）

定員　本科三百名、專攻科百名

修業年限　五ケ年、專攻科三ケ年

入學　本科に入るものは、尋常小學校卒業以上の學力を要し、專攻科に入る者は、本校卒業者或は之と同等の學力を要す

授業料　本科貳圓五拾錢、專攻科貳圓五拾錢

◎學習院女學部（官立）

所在　麹町區永田町山王臺の後ろに在り

目的　皇后陛下の令旨を奉じ、彝倫を本とし智識を發達せしめ、高尚の性情と健康の身體とを以て上流社會の賢母良妻たるを陶冶するにあり

學科　を分て小學科、中學科とし、更らに各科を小分して各々初等科、高等科となす

專修科　高等中學科卒業生にして、尚は高等の學科を修めんとする者のために設けられ、在學年限二ケ年とす

別科　又た年齡既に長じて、普通學科を修むる暇なきものゝために設けられ、二三の學科を授く

課程　學課目は、修身、國文、漢文、歐語、地理、歷史、算術、實物、理科、家政、習字、圖畫、裁縫、音樂、體操等なり

授業時間　初等小學は一日四時間にして、他は五時間なり、土曜日は三時間とす、

學年　學年は九月一日に始まり翌年八月三十一日に終る、これを三學期に分ち、九月一日より十二月二十四日迄を第一學期とし、一月十一日より四月三十一日迄を第二學期とし、四月十一日より七月三十一日迄を第三學期とす

卒業年限　小學科、中學科初等三年高等三年、通じて十二ケ年なり

授業科、専修科及び中學科一ヶ月二圓以上三圓迄、高等小學科同一圓五十錢以上三圓迄、初等小學科同一圓以上二圓、幼兒保育科同一圓以上二圓迄

部長、松本源太郎

○東京府第一高等女學校（府立）

所在、淺草七軒町二番地

目的、女子に須要なる高等普通教育を施すにあり

學科、課程左の如し

學科＼學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
修身	道徳ノ要領 作法	同上	同上	同上	同上
國語	講讀 文法及作文	同上	同上	同上	講讀 文法及作文
習字	發音綴字	同上	同上	同上	同上
讀譯					
解方					
毎週授業時間	二	二	二	二	二

學科＼學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
外國語	讀書會話作文	同上	同上	同上	同上
歷史	日本歷史	日本歷史	日本歷史 東洋歷史 外國地理	東洋歷史 西洋歷史 外國地理	西洋歷史 歷史地理補習
地理	日本地理	外國地理	西洋歷史 地文	歷史地理補習	
數學	算術	同上	同上	幾何初步	
理科	植物動物	動物生理及生	化學及鑛物	物理	
圖畫	自在畫	自在畫幾何畫	同上	自在畫考案畫	同上
家事				緒論 衣食住	養育看病 整理經濟 家計記
運針	運針				
裁方	裁チ方 縫ヒ方	裁チ方 縫ヒ方	裁チ方 縫ヒ方	裁チ方 縫ヒ方	裁チ方 縫ヒ方
毎週授業時間	三	三	三	三	三

裁縫	縫ヒ方 繕ヒ方 服地	四	同上	四	縫ヒ方 繕ヒ方	四	みしん用法	四	みしん用法	四
音樂	單音唱歌	二	單音唱歌 輪唱歌	二	單音唱歌 輪唱歌 複音唱歌	二	單音唱歌 輪唱歌 複音唱歌 樂器用法	二	同上	四
體操	普通體操 遊戲	三	同上	三	同上	三	同上	三	同上	三

修業年限、五ヶ年

學年、四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終る

入學、身體健康、品行方正にして、左の資格に該當するもの

本科 第一年級に入學せんとするものは、高等小學校第二年級を卒りしもの、若くは之と同等以上の學力を有し、年齡滿十三年以上のもの、但し二年級以上は年齡學力當該學年のもの

授業料、一ヶ月貳圓

職員、校長伊藤貞勝其他十數名の男女教師教鞭を採る

○東京府第二高等女學校（府立）

所在、小石川區竹早町

目的、本校は女子に須要なる高等普通教育を爲すを以て目的とす

修業年限、を五ヶ年と定む

學科々目、入學資格、學費等凡て第一高等女學校に同じ

創業、本校は明治三十三年九月の開校に係り、現在生徒三百六十名

職員、林吾一學校長の事務を扱ふ

○東京府第三高等女學校（府立）

所在、麻布區北ヶ窪町

目的、本校は本邦女子に必要なる高等普通教育を施すを以て目的とす

年限、修業年限を五ヶ年とす

學科目、入學資格、其他學費等總て第一、第二高等女學校に同じ

創業、本校は明治三十六年四月新築校舍の落成と共に始めて開校したるものにして學校長は小林盈、現今生徒四百二十名を養成せり

○東京府女子師範學校（府立）

所在、東京市小石川區竹早町

東京府第二高等女學校

東京府立女子師範學校

本校は師範教育令により東京府小學校教員を養成する所とす

修業年限は四月一日に始まる

學費、學資、寄宿費、生徒には學資として食費、被服、雜費を給す

寄宿舍、生徒は總て寄宿舍に寄宿せしむ、但貸費生徒に限り通學せしむることあるべし

課目左の如し

學科目	毎週時間	第一學年	毎週時間	第二學年	毎週時間	第三學年
修身	二	人倫道徳の要領 作法	二	同上	二	人倫道徳の要領 修身教授法
教育	二	教育	二	教育の原理	前四 後三	教育の原理 教育法令及學校管理法 實地授業
國語	四	講讀、文法、作文	三	講讀 作文	前三	講讀 文學史大要、作文
漢文	二	講讀	二	同上	前二	同上

學科目	毎週時間	第一學年	毎週時間	第二學年	毎週時間	第三學年
歷史	二	本邦	二	同上	前二	外國歷史 教授法
地理	二	地理の要略、日本地理、地圖描寫法	二	外國地理の大要、地圖描寫法	前一	地文の大要 地理教授法
數學	三	算術（筆算珠算）	三	同上 幾何初歩	前二	幾何初歩 算術幾何教授法
理科	二	博物	三	物理、化學	前三	人身生理 教授法
家事	六	衣食住に關る事項裁縫	六	同上	前三	育兒、家計簿記 裁縫教授法
習字	二	楷書行書	二	假名交り草書	前二	假名交り草書 習字教授法
圖畫	二	自在畫	二	同上 器畫大要	前二	自在畫 圖畫教授法
音樂	二	單音唱歌	二	複音唱歌 樂器用法	前二 後同上	同上 唱歌教授法
體操	三	普通體操 遊戲	三	同上	前三	同上 體操教授法
計	三四		三四		三四	

入學、入學を許可せんとする時は初め試驗生として四日以内假に入學せしめ、其資

性品行等を審察し適當と認むるものに限り本入學を許すべし、但師範學校の豫備科卒業を入學せしむる場合に於ては本文に依るの限りにあらず

入學資格　尋常小學校の本科准教員たるべきもの免許狀を有し若くは之と同等以上の學力を有する者

學費　授業料を徴收せず官費生は一切の學費を給す

○女子學院規則（私立）

所在　麹町區上二番町三十三番地

目的　善良なる家族をなすに足るべき智德を具ふる女子を養成し併せて普通學教員たる檢定を經て資格を得るの準備をなすにあり而して基督敎主義を以て敬神の念愛國の情を涵養す

學年　四月に始まり三月三十一日に終る

學期　一學年を分ちて三學期とし第一學期は四月一日より七月十日までとし第二學期は九月十一日より十二月二十四日までとし第三學期は一月八日より三月三十一日までとす

修業年限　高等科三ヶ年本科五ヶ年とす其學科目は別表に示すが如し

入學期　每學年の始より三十日以內とす

學費　一、束修金　貳圓

二、授業料　金　貳圓

三、寄宿費食費金五圓五拾錢　舍費金壹圓

四、同特別食費金六圓五拾錢　舍費金壹圓五拾錢

冬期は薪炭料として壹圓五拾錢納むべし　一二時に十二月　二月

但し授業料及寄宿費は每月七日迄に必す納むべし且如何なる事故ありて缺席するも全額を納めしむるものとす

音樂專修授業料は

「オルガン」　金壹圓　機械損料共「ピヤノ」　金參圓　授業料

夏季休業中壹ヶ月即ち八月は總ての授業料を納むるを要せず

女子學院本科課程及敎授時數

學科目	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
修身	每週時數 一	每週時數 一	每週時數 一	每週時數 一	每週時數 一
人倫道德之要領	本科第三法	本科第二法	本科第二法	本科第二法	本科第二法
作文	三	三	三	二	二
同上	三	三	三	二	二

國語	七	講讀、作文、文法、習字	七	同上	七	同上	七	同上	七	同上	
英語	五	讀方、譯解、會話、習字	五	同上	五	讀方、譯解、文法	五	讀方、譯解、作文	五	同上	
歷史 地理	三	本邦歷史 本邦地理	三	同上	三	外國歷史 外國地理	三	同上 地文	二	外國歷史 本邦歷史	
數學	三	小數、分數、比例	三	利息算	三	開平方 開立方	三	求積 代數初步	二	幾何初步	
理科	二	理科大意	二	生理衛生初步	二	植物動物初步	二	化學鑛物初步	二	物理初步	
圖畫	一	自在畫	一	同上	一	同上	一	同上	一	同上	
家事							二	衣食住 整理經濟 家計簿記	二	育兒 看病	
裁縫	三	普通衣類ノ裁チ方縫ヒ方	三	同上	三	同上	三	同上	二	同上	

音樂	一	單音唱歌	一	同上	一	同上	一	同上	一	同上	
體操	二	普通體操遊戲	二	同上	二	同上	二	同上	二	同上	
									一	同上	複音唱歌
計	三〇		三〇		三〇		三〇		三〇		
隨意科目	漢文										
	樂器用法		一		一		一		一		

漢文は習字の時間を以てし樂器用法は時間外とす

女子學院高等科課程及教授時數

學科目	每週時數	第一學年	每週時數	第二學年	每週時數	第三學年
倫理	二	實踐倫理	二	同上	二	同上
心理 論理 學	二	心理學 論理學	二	同上	二	同上
必修						
		四基督教證據論				

教育	二	教育原論	二	教授法
國語	二	講讀作文	二	同上
英語	九	修辭學 英文學	九	文學史 二 同上
歷史 地理	二	外國歷史 地文學	九	文學史 九 同上
數學	一	代數學 幾何	十	科
理科	二	生物 化學	四	動物、植物、天文學
家事	一		一	看護學
音樂	一	複音唱歌	一	同上
體操	二	普通體操 遊戲	二	同上
計	二三		二三	二七
隨意科		裁縫 佛語 樂器用法		
隨圖書				

隨意科は時間外に科す

天文學地文學外國歷史其督教證據論は英書を用ふ

○共立女子職業學校（私立）

所在　神田區一ッ橋通町二十二番地

目的　女子に適應せる技藝職業幷に必要の學科を授くるにあり

學科　甲乙の二科に分ち甲乙科共に、裁縫、編物、刺繍、造花、圖畫の五科を置く

但甲科生は二科に限り乙科生は一科に限り撰修するものとす

甲乙二科共に術科の外必ず修身、國語、算術、家事、理科の五科を課す但學科を修得したる者にして之を修むることを要せずと認むは者は之を課せず

本科及選科　術科學科を併せ修むる者を本科生とし術科のみを修むる者を選科生とす

修業年限
一、甲科　三ヶ年
二、乙科　二ヶ年

學年　四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る

入學期　毎年四月とす

入學資格
一、甲科生は年齢十二歳以上乙科生は年齢十五歳以上にして尋常小學六年の課程を終へたるもの及び之れと仝等以上の學力を有する者に付入學試驗を行ひ合格者を入學せしむ

入學試驗期日は左の如し
四月四日　午前八時より
七月一日（仝　上）
十月一日（仝　上）

二、高等女學校卒業者は無試驗入學を許す

學費
一、校費　甲科　壹圓五拾錢　乙科　壹圓

二、授業料　甲科　一ヶ年貳拾七圓乙科一ヶ年貳拾圓
四月、七月、十月、一月の四期に分納す

貯金　術科に於ては生徒練習の爲め注文品を製作せしめ其製作品の純益金の半額以下を該生徒に分與し其名義を以て遞信省郵便貯金管理局に預け置き卒業の後又は要用ある時本人の申出により之を交附す

展覽會　毎年展覽會を開く

書籍器具材料　修業上必要の書籍器具幷に術科所用の材料は生徒の自辨とす但技術進歩するに至れば注文品を以て生徒の實習に供することあるべし
裁縫用の「みしん」は本校所有のものを使用せしむ

寄宿舍　遠國より入學する者の便を計り校内に寄宿舍を設く

寄宿料　一ヶ月金七圓五拾錢

特色　着實の氣風を養成するにあり

一、服裝、平常用服、木綿類毛織類（メリンス毛繻子フランネルの類）麻布類
但便宜により紬の類を着用するは差支なけれども糸織縮緬類は固く之を用ゆべからず
前掛は授業中必ず之を着用すべきものとす

二、特典　本校卒業生は中等教員檢定受驗資格（裁縫科或は手藝科）認定の特典あり

學程課程　甲乙二科術科及學科課程左の如し

術科課程表

	毎週時數 第一年	第二年	第三年
裁縫	縱小裁、中裁、本裁衣服、シャツ、ヅボン下、子供並に婦人洋服類及び其附屬品等	同上	同上
編物	衣服附屬品及び裝飾品等	同上	同上
刺繍	綫繍、平繍、けし繍、すが繍、すから繍、肉入繍等	同上	同上
造花	各種の花簪、草木花卉の模造及び室內裝飾品等	同上	同上
圖畫	日本畫、水彩畫、書案、用器畫法、肖像畫、其他應用工藝品等	同上	同上

學科課程表

學科	毎週時數 第一年	第二年	第三年
修身	一人倫道德の要旨	一同上	一同上
國語	五讀書、作文、習字	五同上	五同上
算術	一珠算、加減乘除、諸等	二筆算、小數、分數、珠算、同上、小數、諸等、相場割	二筆算、比例利息
家事	一衣食住、家事管理法	一家計簿記、育兒法	
理科		一生活上緊要なる理科の大意	一前年の續
體操	二普通體操、遊戲	二同上	二同上

○補習科

本校卒業生にして更に技藝を研究せんとする者又は敎員志望の者の爲めに補習科を置く

一、修業年限　一ヶ年

二、學科課程　左の如し

學科	毎週時數	程度

修身	一	人倫道德の要旨
教育	二	總論、管理法、教授法
家事	一	洗濯法（理論及び實地）
體操	二	普通體操、遊戲

割烹科

和洋食物調理の實習及之に關する學理の一般を授くるにあり

一、修業年限　一ヶ年

二、課程、實習　毎週一回凡四時間

講義　毎週一回二時間（四ヶ月間）

三、入學時期　毎年四月

四、校費　五拾錢

授業料一ヶ月

（一）實習のみを爲す者　金八拾錢

（二）講義のみを聽聞するもの　金六拾錢

（三）實習講義を倂せ修むる者　金壹圓

但實習を爲すものは毎月材料實費金貳拾錢內外を納むること

○別科　造花科に別科を置く

一、修業年限　三ヶ年

二、取扱　乙科生と仝一に取扱ふ

三、器具材料貸與　別科生は授業料を納めしめず花造に要する一切の器具材料を貸與す

但衣食住に關するものは自辨とす

四、給與　別科生二學年の修業を終りたる者には製作品純益の幾分を給與す

五、定員　別科生の定員は三十名とす

六、入學資格　尋常小學六年を終へたる者又は之れと仝等の學力を有し在學中家事に係累なき者

七、假入學　一ヶ月間は試驗生として假入學を許し其技能等を審査したる後本入學を許す

八、制裁　別科生は半途退學するを許さず但止むを得ざる事故あるものは在學中の費用を辨償せしめて退學を許す

私立 ○女子美術學校

女子美術學校

所在　本郷區本妙寺内

目的　本校は女子の德性智識を涵養し兼て女子に適當にして優美なる藝術を教授し内に在りては良妻賢母たり外に處しては文明を裨補するの技術家及教育家たるものを養成する所とす

定員　本校は生徒定員を九百名とす

分科　本校は左の八分科を置く

一、日本畫

		修業年限
本科	普通科	四ケ年
	高等科	三ケ年
撰科	普通科	二ケ年
	高等科	三ケ年
師範科		二ケ年
研究科		一ケ年

一、西洋畫

本科	普通科	四ケ年
	高等科	三ケ年
撰科	普通科	二ケ年
	高等科	三ケ年
師範科		二ケ年
研究科		一ケ年

一、蒔繪

本科	普通科	四ケ年
	高等科	三ケ年
撰科	普通科	二ケ年
	高等科	三ケ年
研究科		四ケ年

一、彫刻

本科	普通科	四ケ年
	高等科	三ケ年
撰科	普通科	二ケ年
	高等科	三ケ年
師範科		二ケ年
研究科		一ケ年

一、織物

本科	普通科	四ケ年
	高等科	三ケ年
撰科	普通科	二ケ年
	高等科	三ケ年
研究科		四ケ年
別科		一ケ年
速成科		一ケ年

二、造花
　本科　普通科　高等科　四ケ年
　撰科　普通科　高等科　三ケ年
　師範科別科　二ケ年
　研究科　一ケ年
一、裁縫
　本科　普通科　高等科　三ケ年
　撰科　普通科　高等科　二ケ年
　師範科　一ケ年
　研究科　一ケ年

第四條　本校は附屬として料理科を置く、但し規則は別に之れを定む
入學期　本校生徒募集は毎學年の始に於てす但し缺員ある時は臨時入學を許す尤も第三學期中に入學せる者は假入學として學年試驗に應せしめず
入學資格　本校の入學資格を左の如く定む

●本科普通科
二、尋常小學校（六年）卒業者にして滿十二才以上のもの
●本科高等科
一、修業年限四ケ年以上の高等女學校を卒業したるもの
一、修業年限三ケ年以上の高等女學校技藝專修科を卒業したるもの
一、女子師範學校若しくは師範學校女子部を卒業したるもの
一、小學校本科正教員の免許狀を有するもの
一、明治四十二年二月以前に於て教員免許令に依り授與せられたる教員免許狀を有するもの
一、專門學校入學者檢定規程に依る試驗檢定に合格したる者
一、專門學校入學者檢定規程第八條第一號に該當するもの
一、本校本科普通科を卒業したる者は各本科、高等科及び各師範科の二學年に無試驗編入せしむ
　但し裁縫本科高等科には適用せず
●師範科
一、本科高等科入學資格と同しとす
●撰科普通科
一、尋常小學校卒業以上の學力を有する者にて滿十四歲以上のもの
●撰科高等科

一、本校本科又は撰科の普通科を卒業したるもの、並に裁縫科に限り小學校裁縫專科正教員の免許狀を有するもの

●編物速成科

一、撰科入學資格に同じとす

●研究科

一、本校高等科を卒業したるもの

前條の入學資格を備へさるものには入學試驗を行ふ但し受驗手數料金壹圓を納附するものとす

別科　別科生は選科生普通科生と仝一の課程を踏修せしむ

別科生には授業料及入學料を免除し且學年より其修技材料を供給す

別科入學資格

尋常小學校卒業以上の學力を有し年齡十四歲以上の者に限る

料理科

科目　日本料理西洋料理支那料理の三科及び研究科とす

修業期限　各を二ケ月を定め之れを一番とす

講習期　左の三季とす

春季（自二月一日至四月卅日）　夏季（自五月一日至七月卅日）　秋季（自九月一日至十一月卅日）

前條の講習期の外に左の短期講習を開く

夏季（自八月一日至同十四日）　冬季（自十二月一日至同十日）

授業日左の通りに定む

一、日本料理科（水曜日　金曜日）　午前の部

二、西洋料理科（月曜日　木曜日）　午前の部

三、支那料理科（土曜日）　午前の部

四、研究科（日本料理第一、第三火曜日　西洋料理第二、第四火曜日）　午後の部

午前の部は午前八時より正午迄を授業時間とし午後の部は午後二時より同五時迄とす

各季三ケ月分の授業料を左の通りに定む但し前納のこと

日本料理科　金四圓五拾錢
西洋料理科　金四圓五拾錢
支那料理科　金　三　圓
日西二科兼修　金八圓五拾錢
日支二科兼修　金　七　圓
三科兼修　金十一圓
研究科　金　三　圓
短期講習　夏季（一科）金貳圓五拾錢
　　冬季（二科）金壹圓八拾錢
材料實費　一回金參拾錢內外とす但し時期により變更することあるべし
學年　本校の學年は四月一日に始め翌年三月三十一日を以て終る學期を分て三學期となし第一學期は四月一日より八月三十一日に至り第二學期は九月一日より十二月三十一日に至り第三學期は一月一日より三月三十一日に至る
學費
一、入學金本校は生徒入學の際入學金貳圓を納めしむ
二、授業料本校授業料は本科選科共に普通科一ヶ年卅三圓六拾錢、高等師範科研究科は各一ヶ年卅九圓六十錢編物速成科は一ヶ月三圓とし便宜上本校の指定せる月割額に據りて毎月分納し得るものとす但し既納の授業料は返附せず
選科生にして本科の學課を傍聽せんとする者は聽講料として一課につき金貳拾錢を納むべし

寄宿舍

本校寄宿舍は教室の教育と相待ちて生徒の品性を陶冶し自治の精神を養ひ自ら學業を修習せしむる所とす
寄宿料を一ヶ月金七圓とし舍費を金壹圓とす但し物價の高低に依り增減することあるべし

○跡見女學校（私立）

所在　小石川區柳町二十七番地
目的　本邦固有の女德を涵養し且女子に必要なる學術技藝を教授するにあり
修業年限　五ヶ年とす
　別科並に研究科を置く
學年　四月六日に始まり翌年三月三十五日に終る
入學資格　左の資格を要す

跡見女學校

一、小學尋常科第六學年修了者（無試驗）
二、第二學年級以上へは試驗を要す

入學期　學年の始とす

學費　及寄宿料

一、束修金五拾錢

二、本科授業料を金參拾參圓（三學年級以上）及金貳拾貳圓（一學年級以上）の二種とし左の三期に分ち前納せしむ

但別科授業料は別に之を徵收す

第一期　自四月　至七月　金拾貳圓（三學年級以上）　四月十五日限
（壹學年級以上）　金八圓
第二期　自九月　至十二月　金拾貳圓（三學年級以上）　九月十五日限
（壹學年級以上）　金八圓
第三期　自一月　至三月　金九圓（三學年級以上）　一月十五日限
（壹學年級以上）　金六圓

寄宿料（一ヶ月分）

一、食費　金七圓五十錢
一、舍費　金壹圓

但物價の高低により增減することあるべし

○高等女子佛英和學校（私立）

所在　神田區猿樂町七番地

目的　女子に必要なる高等普通の教育を施し優良の女子を養成するにあり

修業年限及學年　修業年限は本科を五ヶ年外國語專科を六箇年英語速成科を三箇年となし一學年を分ちて三學期とす

但本科の課程を終へたる後更に外國語專科第六學年の課程を修めしむ

第一學期　自四月一日　至八月三十一日
第二學期　自九月一日　至十二月三十一日
第三學期　一月一日　至三月三十一日

入學期　每學の年始めとす

但缺員あるときは各學期の始めに之を許す

入學資格　品行方正身體健全なる滿十二歲以上の女子にして尋常小學校六學年の課程を卒へたるもの又は之れと同等以上の學力を有するもの

但本科には滿十六歲以上、外國語專科、英語速成科には滿二十歲以上の女子の入學を許さず

學科　學科を分ちて本科、外國語專科、英語速成科の三種とす
但隨意科として手藝及音樂を授く學科課程及修業年限は別に之を定めす
第七條　本科は左の普通學科及外國語專科は各自の希望により英語又佛語を授け英語速成科は專ら實用を旨とし英語科の速成を期す
修身　國語　地理　歷史　數學　理科　家事　裁縫　圖畫
學費
一、入學料　金壹圓
二、授業料　左の如し（但八月は徵收せず七月九月は半額とす）

科			
本科	第一學年	一箇月	金壹圓五拾錢
	第二學年	一箇月	金貳圓
	第三學年	一箇月	金貳圓
	第四學年	一箇月	金貳圓
	第五學年	一箇月	金貳圓
外國語專科	一語兼修	一箇月	金貳圓
	二語兼修	一箇月	金參圓
英語速成科	各學年	一箇月	金壹圓
隨意科	洋裁縫	一箇月（隔週教授二時間）	各金壹圓
	手藝 洋畫 甲（水彩畫）	一箇月（每週三時間教授）	金參圓
	手藝 洋畫 乙（鉛筆畫）	一箇月（每週二時間教授）	金參圓五拾錢
	音樂 ピヤノ	一箇月（每週一時間教授）	金四圓
	音樂 オルガン	一箇月（同　上）	金參圓
	音樂 琴	一箇月（每週一時間半教授）	金壹圓五拾錢

寄宿舍　本校は寄宿舍を設け監督を嚴重にし訓育保健に留意し父兄委托の任に背かざらんことを期す
但入舍を許す十六歲未滿の者に限る
寄宿舍費左の如し

寄宿食料	和食	一箇月	金七圓
	和洋折衷	一箇月	金拾壹圓
	洋食	一箇月	金拾五圓
入寄宿金費		一箇月	金壹圓

但通學生の希望により晝食は一箇月和食參圓、洋食四圓とす
寄宿生の授業料寄宿料其の他の諸雜費納學生の晝食料は毎月末本校より送附する計算明細表に依り翌月十日前に學校會計係に完納すべし
學科課程　本科學科課程左の如し

學科目	第一學年 毎週時數	第二學年 毎週時數	第三學年 毎週時數	第四學年 毎週時數	第五學年 毎週時數
修身	人倫道德ノ要旨	同	同	同	同
國語	講讀	上	上	上	上
	習字	二	二	二	一
	作文	二	二	二	一
	六	同	同	同	同
歷史		上	上	上	上
		本邦歷史	本邦歷史	外國歷史	外國歷史
		二	二	二	二
地理	本邦地理	本邦地理	外國地理	外國地文	同
	二	二	二	一	上
數學	整數分數ノ加減乘除	小數ノ加減乘除比例	比例	百分算平均	幾何初步求積珠算
	三	二	二	二	二
理科	植物	動物	鑛物及化學	化學	生理衛生
	一	一	一	一	一
圖畫	習畫	同上	同上	同上	同上
	一	一	一	一	一
家事裁縫	三	同上	同上	同上	同上
	同上	三	三	三	三
		衣食住	衣食住	衣食住	衣食住
		上	上	上	上
		一	一	一	一
圖畫	上及書方	上及書方	上及書方	上及書方	上及書方
	三	三	三	三	三
		兒童家計簿記	兒童家計簿記	兒童家計簿記	兒童家計簿記
	一	一	一	一	一
外國語	讀方譯解會話習字	讀方譯解會話習字	讀方譯解會話習字	讀方譯解會話習字	讀方譯解會話習字
	一二	一二	一二	一二	一二
	讀方譯解會話法取字	讀方譯解會話法取字	讀方譯解會話法取字	讀方譯解會話法取字	讀方譯解會話法取字
	一二	一二	一二	一二	一二
	讀方譯解會話文法取書	讀方譯解會話文法取書	讀方譯解會話文法取書	讀方譯解會話文法取書	讀方譯解會話文法取書
	一二	一二	一二	一二	一二
	讀方譯解會話文法取書作	讀方譯解會話文法取書作	讀方譯解會話文法取書作	讀方譯解會話文法取書作	讀方譯解會話文法取書作
	一二	一二	一二	一二	一二
	同上	同上	同上	同上	同上
	一	一	一	一	一
計	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇

（備考）外國語第六學年の課程は前年に繼き稍〻高尚なる課程を修めしむ
外國語專科は本科外國語に準ず

○東京女學館（私立）

一、所在　麹町區虎の門内
一、設立　本館は女子教育奬勵會の設立に係る
一、目的　本館は女子奬勵會の趣旨に基きて女子の德性を涵養し併せて必須の學術技藝

を授くる所とす

學科　本館に普通科高等科の二科を置く

修業年限

一、普通科の學科課程は高等女學校令に準據し修業年限を五箇年とす（別表第一號）

二、高等科は普通科を卒へたる後猶進みて高等の學科を修めんと欲するものの爲に設くるものにして修業年限を二箇年とす（別表第二號）

學年　本館の學年は四月一日に始り翌年三月三十一日に終る

一學年を分ちて三學期とす第一學期は四月一日より八月三十一日に至り第二學期は九月一日より十二月三十一日に至り第三學期は一月一日より三月三十一日に至る

入學期　入學期は學年の始（四月）とす但し缺員あるときは第二學期の始に入學を許すことある

入學資格　年齡十三年以上にして尋常小學第六學年の修業を卒へたる者は無試驗にて本館第十學年に入學を許す但し入學希望者募集定員に超過するときは檢定の上許否を定む本館第二學年以上に入學を希望する者は相當年齡に達したる者に限り學力檢定の上許否を定む

學費

一、束修　金參圓　高等科
　　金參圓五拾錢也　普通科

二、授業料　金參圓也　選科

三、樂器使用料　金壹圓也　一箇月分（特に樂器を使用する者に限る）

四、寄宿舍費　金壹圓也　一箇月分（本館内教師の許に寄宿する者に限る）

割烹挿花等の稽古をなす者は其の使用たる材料の實費を徴收す

生徒の負擔すべき臨時の費用は本館に於て豫め其の金額を定め保證人の承諾を得るにあらざれば決して徴收することなし

學科課程　左の如し

普通科課程表

學科目 ＼ 學年	一學年	二學年	三學年	四學年	五學年
修身	一	一	一	一	一
倫理綱要	同	同	同	同	同
倫理					上
國語	上	上	上	上	上
漢文	一	一	一	一	一
歷史	同	同	同	同	同
地理	上	上	上	上	上
法制					一
經濟大意					同
數學	上	上	上	上	上
理科	一	一	一	一	一
物理及化學	同	同	同	同	同
博物	上	上	上	上	上
圖畫	一	一	一	一	一
音樂	同	同	同	同	同
體操	上	上	上	上	上
每週時數	一學年	二學年	三學年	四學年	五學年

國語	七	講讀、作文、習書	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
英語	六	講讀、譯文、習書、會話	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
地理	一	本邦地理	同上	外國地理	同上	同上及地文概要	同上	同上	同上	同上	同上
歷史	一	本邦歷史	同上	外國歷史	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
數學	三	四則應用	比例問題	同上及百分算	代數初步	幾何初步	同上	同上	同上	同上	同上
理科		博物示教	物理	化學	生理、衛生看護						
家事				衣食住計記	家事簿記	同上及育兒看病法					
圖書	二	毛筆書	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

高等科課程表

學科目	學年	每週時數	一學年	每週時數	二學年
修身	一		人倫道德ノ要旨		
國語	五		講讀、作文、文法、文學史、習字、漢文、詩歌		
英語	一〇		講話、作文、文法、會話		
唱歌	二	單音	二	同上	同上
裁縫	三	裁縫	三	仝上	仝上
體操	二	遊戲、普通體操	二	仝上	仝上
隨意科					茶、華洋插花、琴
合計	二八		二八	二九	三一

仝上及修辭學

家事	二	看護、育兒、衛生、割烹	二
繪畫	二	毛筆畫	二 全 上
裁縫	二	裁縫、編物	二 全 上
隨意科目 音樂	二	唱歌、洋琴	二 全 上
隨意科目 體操	一	普通體操	一 全 上
隨意科目 手藝	二	挿花、割烹	二 全 上
合計	三〇		三〇

備考　高等科の隨意科を修めざるものには其の時間をすべて裁縫科に充用せしむ

寄宿舍の設備あり

私立帝國女子專門學校附屬

日本高等女學校（私立）

所在の目的　小石川區大塚町七番地

日本固有の道德思想を啓發し現代の女子に須要なる高等普通の教育を授くる

學科目及其の程度　本科は本科技藝專修科は當分の間これを設けず）

本科の學科目は左の如し

修身、國語、地理歷史、數學、理科、家事、裁縫手藝、圖畫、音樂、體操

以上必修科目とす

英語、漢文、實業

以上隨意科目とす

修業年限及學科課程　修業年限は五ヶ年とす其の每週教授時數及び程度は左の如し

本科課程表　△は隨意科目

學年 / 學科目	每週時數	第一學年	每週時數	第二學年
修身		倫理道德ノ要領		倫理道德ノ要領
國語		生徒心得		
地理歷史		修德修學衛		
數學				
理科				
家事				
裁縫手藝				
圖畫				
音樂				
體操				

學年 / 學科目	每週時數	第三學年	每週時數	第四學年	每週時數	第五學年
修身		倫理道德ノ要領		倫理道德ノ要領		倫理道德ノ要領
國語		自己ニ對ス				同上
地理歷史						
數學						
理科						
家事						
裁縫手藝						
圖畫						
音樂						
體操						

修身	二	生上ノ心得起居動作物品ニ關ノル心得朋友ニ對スル心得家族社會國家ニ對スル心得	講義	
國語	六	普通國語ノ話方、今體文ノ書方、佳句格言ノ暗誦書取	講讀	
漢文	六	文法ノ大要、普通ナル假名遣ノ大要、品詞ノ分別	講讀	
作文	六	日用必要ノ文	作文	
英語	三	發音、綴字、發音ヲ嚴正ニシ日用必用ノ單語ニ就テ綴字ヲ授ク	讀方、譯解、會話、書取	
同	二	同	同	
同	三	同	同	

修身	二	家族ニ對スル責務社會ニ對スル責務人類ニ對スル責務	講義	
國語	五	普通國語ノ話方、今體文及近世文ノ讀方解釋、佳句格言諺文ノ暗誦	講讀	
漢文	五	文法ノ復習、補說文章論ノ大要	講讀	
作文	五	同	作文	
英語	二	同	讀方、譯解、會話、書取	
同	三	同	同	

修身	二	法制經濟ノ大意	講義	
國語	五	同	講讀	
漢文	五	兼テ國文變體ノ大要ヲ知ラシム	講讀	
作文	五	同	作文	
英語	二	同	讀方、譯解、會話、書取	
同	三	同	同	

國語	六	字ノ書方今體文ノ書輪文、記事文、敘事文復文	講讀	
漢文	六	習字、楷書、行書、草書	講讀	
作文	六	漢文ノ簡易ナル文ノ講讀	講讀	
英語	三	發音、綴字、發音ヲ嚴正ニシ日用必用ノ單語ニ就テ綴字ヲ授ク	讀方、譯解、會話、書取	
同	二	同	同	
同	三	同	同	

國語	五	前學年ノ續キ作歌ヲ加フ	講讀	
漢文	五	習字、行書、草書、かな	講讀	
作文	五	漢文稍高尚ナル漢文ノ講讀	講讀	
英語	二	平易ナル文章ニ就テ	讀方、譯解、書取	
同	三	會話、作文	同	

國語	五	同	講讀	
漢文	五	論文ヲ加フ	講讀	
作文	五	同	作文	
英語	二	同	讀方、譯解、書取	
同	三	同	同	

國語	五	同	講讀	
漢文	五	科外習字	講讀	
作文	五	同	作文	
英語	二	同	讀方、譯解、書取	
同	三	同	同	

習字	習字ト關聯シテ授ケ書取ニヨリテ練習セシム		
同上	同上	日本地理	總說
			位置、地勢、氣候、住民、政治、生業、交通等
			地方誌
		外國地理	韓國及滿洲
			地理ノ大要 亞細亞
			洋洲
			弗利加
文法	實用ニ適切ナル法則	外國地理	亞細亞、大洋洲、亞弗利加、歐羅巴、亞米利加
同上	同上	外國地理	歐羅巴、亞米利加
文法	同上	外國地理	列國國勢ノ比較
			歐米列國勢力ノ概況
			列國ニ對スル日本ノ國力
文法	同上		

習字	習字ト關聯シテ授ケ書取ニヨリテ練習セシム		
同上	同上	日本地理	總說
			位置、地勢、氣候、住民、政治、生業、交通等
			地方誌
		外國地理	韓國及滿洲
			地理ノ大要 亞細亞
			洋洲
			弗利加
文法	實用ニ適切ナル法則	外國地理	亞細亞、大洋洲、亞弗利加、歐羅巴、亞米利加
同上	同上	外國地理	歐羅巴、亞米利加
文法	同上	外國地理	列國國勢ノ比較
			歐米列國勢力ノ概況
			列國ニ對スル日本ノ國力
文法	同上		

日本歷史	神代、皇基ノ遠遠、上古史中古史	算術	日用必要ノ數量及ビ計算
日本歷史	近古史、近世史、現代	算術	前學年ノ復習及ビ其續キ
東洋歷史	支那朝鮮印度ノ盛衰日清韓ノ關係	算術	前二學年中授ケタル事項ノ復習及ビ數理ノ復習
西洋歷史	上古中古及ビ近古史	算術	前二學年中授ケタル事項、及數理ノ復習
西洋歷史	前學年ノ續近世史數	算術	前四學年中授ケタル事項、及ビ數理ノ復習

數學			
算術	整數及小數命數法及ビ記數法、四則、心算練習、小數		
算術	整數及ビ小數整數ノ可約性最大公約數最小公倍數ヲ求ムル		
算術	諸等數、度量衡、貨幣、時刻ノ計算		
算術	小數及ビ比例		
算術	分數及ビ比例		
算術	比例、比例配分、混合法		
算術	割合、割合算、其他割合ニ關スル日用諸算		
算術	級數	求積	
算術	級數	求積	

比、單比例	植物ノ形態、生理、解剖、分類、應用、分布ノ大要	植物ノ形態、生理、解剖、分類、應用等ノ大要	自然物自然現象ノ家事ニ關スルモノ
割合、歩合算、合算	動物 有益動物ノ習性、生理、生態、發生、分類、應用等ノ大要	動物 有益動物ノ習性、生理、生態、發生、分類、應用等ノ大要	同 上
開平	植物 前學年ノ續キ及ビ有害植物及ビ普通植物ニツキテ	植物 前學年ノ續キ及ビ有害植物及ビ普通植物ニツキテ	家庭理科 同 上
代數初歩	動物 有用動物有害動物及ビ普通動物ニツキテ	動物 有用動物有害動物及ビ普通動物ニツキテ	家庭理科 同 上
代數及幾何	生理衛生 消化、循環、呼吸、排泄、新陳代謝、體溫、運動、神經作用、個人衛生、公衆衛生	二 生理衛生 消化、循環、呼吸、排泄、新陳代謝、體溫、運動、神經作用、個人衛生、公衆衛生	家庭理科 同 上
	物理 運動、力、物性、音、熱、光、磁氣、電氣等物理上ノ現象及ビ定律	物理 運動、力、物性、音、熱、光、磁氣、電氣等物理上ノ現象及ビ定律	衣食住 前學年ノ續キ
	同 上	同 上	衣食住 前學年ノ續キ
	化學及鑛物 化學及鑛物ノ大要、空氣、水、木炭、食鹽、硫黄、消石、燐、硼砂、金屬、普通ナル鑛物、岩石、有機化合物、食品等化學上ノ現象及ビ定律	二 化學及鑛物 化學及鑛物ノ大要、空氣、水、木炭、食鹽、硫黄、消石、燐、硼砂、金屬、普通ナル鑛物、岩石、有機化合物、食品等化學上ノ現象及ビ定律	二 家庭ノ組織 家庭ノ整理 家庭ノ經濟 家計簿記
	同 上	同 上	同 上

裁縫手藝	實業	家事	
八			
普通衣服ノ裁方縫方 編物			自然物自然現象ノ家事ニ關スルモノ
八			
同 上			同 上
六		一	
普通衣服ノ裁方縫方繕 編物組糸袋物等ノ實習	農工商業及ビ生產經濟ニ關スル講話	家庭理科 女子ノ職分 女子ト家庭	家庭理科 同 上
六	二	二	
同 上	同 上	衣服 食物 住居 養育 看病 傳染病豫防	衣食住 前學年ノ續キ 老 兒
六	二	四	
同 上	同 上	家庭ノ組織 家庭ノ整理 家庭ノ經濟 家計簿記	衣食住 前學年ノ續キ

自在畫	自在畫	自在畫	自在畫	自在畫	自在畫
圖畫 一	臨畫、寫生 一	同 上 一	同 上 一	幾何畫 一	寫生 一
音樂 二	單音唱歌 二	輪唱歌 二	單音唱歌 二	輪唱歌 二	複音唱歌 二
操體 三	普通體操 三	普通體操 三	普通體操 三	普通體操 三	普通體操 三
遊戲 二	遊戲 二	遊戲 二	遊戲 二	遊戲 二	遊戲 二
合計 三二	三二	三二	三二	三二	三二

但裁縫手藝を以て隨意科目に代ふることを得、音樂及び體操は生徒身體の狀況に依り之を課せざることあるべし

學年、學年は四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る

學年を分ちて三學期とす

第一學期　四月十一日より七月二十日に至る

第二學期　九月十一日より十二月二十四日に至る

第三學期　一月十一日より三月三十一日に至る

入學期、入學は毎學年の始一回とす

但缺員あるときは第二學期及第三學期の始に於て隨時入學を許すことあるべし

入學資格

本科第一學年へ入學すべきものは年齡滿十二歳以上にして左の資格を要す

一、尋常小學校卒業者

二、尋常小學校を卒業せざる者は入學試驗に合格すること

本科第二學年以上に入學するものは相當の年齡に達し試驗に合格すること

學費

二、入學金　金壹圓

二、授業料　一ヶ月　金貳圓

三、校費　一ヶ月　金五拾錢

寄宿舍、寄宿舍の設備あり

○神田高等女學校（私立）

所在、神田錦町一丁目二十番地神田橋側

目的、高等女學令に基き女子に須要なる高等普通教育を施すにあり

修業年限　五ヶ年

學年　四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る

入學期　毎學期の始めとす但缺員あるときは臨時入學を許す

入學資格　第一學年に入學し得べき者は年齡十二歲以上にして尋常小學校の課程を終りたる者若くは是と同等以上の學力を有するものとす

第二學年以上に入學し得べき者は各學科目に附き試驗を行ひて入學せしむ

學費

一、入學料　　金壹圓

二、授業料　一ヶ月　金貳圓五拾錢

學科課程　本校の學科課程左の如し

學科課程及授業時數表

學科＼學年	每週時數	第一學年	每週時數	第二學年	每週時數	第三學年	每週時數	第四學年	每週時數	第五學年
修身	二	人倫道德要旨作法	二	同上	二	同上	二	同上	二	同上
國語	六	講讀作文習字	六	同上	六	同上文法	五	同上	五	同上
外國語英語	三	講讀作文文法習字	三	同上會話	三	同上	三	同上	三	同上
歷史地理	三	本邦歷史本邦地理	三	本邦歷史外國地誌	三	本邦歷史外國歷史東洋地理	二	外國歷史地文概要	二	外國歷史
數學	二	整數分數小數比例	二	比例百分算	二	百分算開方	二	代數初步	二	幾何學初步
理科	二	植物動物	二	動物生理衛生	二	鑛物化學	二	物理		
家事							二	衣食住	四	育兒養老看病經濟家計簿記家庭敎育
裁縫	四	普通裁縫	四	同上	四	同上	四	同上	四	同上
圖畫	一	自在畫	一	同上	一	同上	一	同上	一	同上
音樂	二	單音唱歌	二	同上	二	單音唱歌複音唱歌	二	同上	二	同上
體操	三	普通體操遊戲	三	同上	三	同上	三	同上	三	同上

○日本女子商業學校（私立）

所在　麹町區土手三番町二十一番地

目的　本校の目的は女子をして穩健なる經濟思想、圓滿なる常識を啓發發達せしむるの本校の目的は女子をして穩健なる經濟思想、圓滿なる常識を啓發發達せしむる爲めに適切なる商業教育を施し家庭の整理者慰藉者として其本分を完うするにあり

分科　本校に普通科及高等科を置く

修業年限　本科四ヶ年高等科二ヶ年とす

學科課程　學科課程は左の如し

普通科

科目＼程度	本科一年	一週時數	本科二年	一週時數	本科三年	一週時數	本科四年	一週時數
倫理	實踐倫理	一同	上	一同	上	一同	上	一
國語漢文	講讀	四同	上	三同	上	三同	上	三

作文	普通文	二同	上	二同	上	二同	上	二
數學	和洋普通算術	三同	上	三同	上	三同上及代數	三	
習字	楷書	二楷一行		二行		二草	二同	上
簿記				二複式商業簿記	二同	上並簿記	二	
商事要項				二貿買、銀行	二保險、倉庫、取引所外國貿易		二	
家事				二通論	二海運、陸運	二同上、看病並法	一	
地理	内國地理	二同	上	一外國地理	一同	上	同上、救急、家計經濟	一
歷史	本邦史	二同	上	一東洋史	一西洋史		一	
理科	博物	一同	上	二同上並理化學	二理化學		二	
英語	讀方、譯話	五同	上	五同上、文作	五同文法		五	
圖畫	自在畫	一同	上	一同	上	一同上、用器畫及圖案法	一	

裁縫	運針裁縫通常衣服裁方縫方	五	同	上	四	同	上	四	同上並簡易洋服裁縫	四	
唱歌	單音唱歌	一	同上並ニ複音唱歌	一	同	上	四	同上並樂器使用	一		
體操遊戲	美容體操並一同	一		上	一	同	上	一	同上	上	一
合計		三〇		三二			三三			三三	

科外（實用的染色並配色法教授（割烹（和洋支那料理）本科二年より課す

高等科

必修科目	程度	第一年			第二年		
		一週時數			一週時數		
倫理	實踐倫理	一	同	上	一	同	上
國語漢文	講讀	四	同	上	四	同	上

作文	商業作文	一	同	上	一	同	上	一	同	上	一
數學	和洋商業算術	二	同	上	二	同	上	二	同	上	二
習字	楷行草	二	同	上	二	同	上	二	同	上	二
簿記	商業簿記	二	同	上	一	同上並銀行簿記	四	同	上	四	
商事要項	通論並賣買銀行	三	保險、海運、陸運、倉庫、取引所、外國貿易		三						
商業地理歷史商品	大意	二	大意		二						
經濟	大意	二	大意		二						
法律	民法大意	二	商法大意		二						
英語	譯讀會話作文	五	同	上	五	同	上	六			
家事	兒童心理	一	同上教育學		一						
裁縫		三			三						

合計				
隨意科目				
速記	邦語	二	同上	三二
タイプライター	英文印刷術	二	同上	三二
合計				

科外に實用的染色並配色法及割烹（和洋支那料理）教授

學年　學年は四月八日より始まり翌年四月七日に終る

學年毎に三學期を設く第一學期は四月八日より七月三十一日に至り第二學期は九月十一日より十二月二日に至り第三學期は一月八日より三月三十一日に至る

入學期　入學期は毎學年の始めとす

但し時宜により臨時入學を許すことあるべし

入學資格　尋常小學六學年修業の學力ある者は本科二年に、高等小學校卒業及之と同等以上の學力ある者は本科二年に入學を許す

本科卒業生若くは高等女學校卒業以上の學力あるものは高等科一年に入學を許す

入學費　金貳圓とす

授業料　一ヶ年本科金貳拾四圓、高等科金參拾圓とし、左表により分納するものとす

學期	學費分納額 本科	學費分納額 高等科	納付期日
第一期　自四月至八月	金拾圓	金十貳圓五十錢	自四月七日至仝十二日
第二期　自九月至十二月	金八圓	金拾圓	自九月十一日至仝十五日
第三期　自一月至三月	金六圓	金七圓五拾錢	自一月十一日至仝十五日

事情により毎月分納せんとするものは左の規定に從ひ納付すべし

高等科　一ヶ月金貳圓五拾錢

本科　一ヶ月金貳圓

尚ほ八月分は折半して七月及び九月分と同時に分納すべし

速成科は本科の規定に依る

速成科規定

目的　本校は或事情により數年在學し能はざる者の爲めに特に速成科を設く

入學資格　速成科に入學せんする者は高等小學卒業以上の學力ある事を要す
修業年限　一ヶ年とす
學科課程　時間左の如し

科目	毎週時數
倫理	一
實踐倫理	
國語漢文	四
講讀和漢文	
作文	二
普通文及商用文	
習字	四
楷行草	
計算	四
和洋商業算術	
簿記	六
商業並銀行簿記	
商事要項	二
通論、賣買、銀行、海陸運送、保險、倉庫、取引所等。	
商業地理及商品	二
大意	
家事	一
衣食住	
英語	五
講讀會話	
合計	五

但英語は隨意科目とす
科外（實用的染色並に配色法
教授（割烹（和洋支那料理）
速成科の授業料は金貳圓とす

○駿臺英和女學校（私立）

所在　神田駿河臺袋町拾番地
目的　勅語の聖旨を奉戴し完全なる基督教主義に依て英語學及和漢普通の學科を授け婦德の養成を目的とす
學科　豫科及本科とす
修業年限　豫科四ヶ年本科四ヶ年とす
學年　四月一日に始まり翌年三月二十一日に終る

駿臺英和女學校

入學資格、

一、豫科第一學年に入學を許すべき者は年齡十二歲以上にして尋常小學卒業の者若くは之れと同等の學力を有する者

二、本科一學年に入學を許すべき者は本校の豫科卒業者又は之れと同等の學力を有する者

學費、

一、束修金壹圓

二、授業料

本科　金壹圓

豫科　金六拾錢（但英語を兼修するもの金壹圓）

寄宿舍、寄宿舍あり一ヶ月以上通學の上適當と認むる者に限り入舍を許す

寄宿舍の監督は嚴格なり土曜日と雖も妄りに外出を許さず寄宿生は貴金屬其他高價の裝飾品を携帶するを禁ず

在塾費金四圓とす

學科課程　本校學科課程左の如し

本科豫科課程及學年配當表

學年	豫科第一年	豫科第二年	豫科第三年	本科第一年	本科第二年	本科第三年	本科第四年
修身	人倫道德ノ要旨 一	同 上 一	同 上 一	同 上 一	同 上 一	同 上 一	同 上 一
國語	講讀 一	同 上 一	同 上 一	同 上 一	同 上 一	同 上 一	同 上 一
英語	讀方譯解會話綴字書取 三	同 上 三	同 上 三	讀方譯解會話文法 三	同 上 三	同 上 三	英文學自修質問修辭 三
歷史	一	本邦歷史 一	同 上 一	東洋史 一	同 上 一	本邦史 二	同 上 一
地理	一	東京地理 一	本邦地理 一	外國地理 一	地文 一		
數學	小數分數比例 二	分數比例 二	諸比例 二	同 上 二	開平開立求積 二	代數學 二	幾何初步 代數學 二
理科	理科大意 二	同 上 二	同 上 二	生理 二	物理 二	植物 化學 二	廣物 化學 二
家政							看護 育兒 簿記 衛生 一
家政							

裁縫	二	縫方	二	同上	二	同上	二	同上	二	同上	二	同上	一	同上	一	同上
習字	二	和英	二	同上	二	同上	二	同上	一	同上	一	同上	一	同上	一	同上
作文	一	往復文	一	同上	一	同上	一	同上	二	論文記事往復文	一	同上	一	同上	一	同上
英語唱歌	一	複音唱歌	一	同上	一	同上	一	同上	一	同上	一	同上	一	同上	一	同上
漢文			二						二	講讀	二	同上	三	同上	二	同上
圖畫	一	毛筆畫自在畫	二	同上	一	同上	一	同上	一	同上	二	同上	一	同上	一	同上
計	二八		二八		二八		二九		二九		二八		二九		二九	

○私立三輪田高等女學校(私立)

所在、 麹町區四番町

目的、 本校は高等女學校令及高等女學校令施行規則により女子に須要なる高等普通教育を施すを以て目的とす

修業年限、 本校の修業年限は五ヶ年とす

本校に補習科を置く其修業年限は一ヶ年とす

定員、 本校の生徒定員は六百人とす

學科目、

一、本校の學科目は修身、國語、外國語(英語)歷史、地理、數學、理科、圖畫、家事、裁縫、音樂、體操教育、手藝とす
教育、手藝は隨意とす

二、補習科の學科目は修身、國語、家事、裁縫、手藝體操とす
前項科目の外英語、歷史、地理、數學、理科、音樂を隨意科目とし三科以內を選び之を修むることを得科外として活花、點茶を修むることを得

學科課程、 各學年及補習科に於ける各學科程課及每週教授時數は左表による

科目＼學年	每週時數	第一學年	同	第二學年	同	第三學年	同	第四學年	同	第五學年
修身	二	人倫道德ノ要旨作法	二	同上	二	同上	二	同上	二	同上
國語	六	講讀、文法作文、習字	六	同上	六	同上	五	同上	三	講讀、文法、作文、

學科目	第一學年 毎週時數	第二學年 毎週時數	第三學年 毎週時數	第四學年 毎週時數
修身	一	一	一	一
國語	八	七	六	六
歷史			二	二
地理			二	二
數學	二	二	二	二
理科			二	二
圖畫	一	一	一	一
家事				一
裁縫	四	四	四	四
音樂	二	二	二	二
體操	三	三	三	三
計	二八	二八	二八	二八

補習科

學科目	第一學年 毎週時數	第二學年 毎週時數
修身	一	一
國語	四	四
家事	四	四
裁縫	四	四
體操	二	二
計	一五	一五

學科目	第一學年 毎週時數	第二學年 毎週時數	第三學年 毎週時數	第四學年 毎週時數
修身	一	一	一	一
國語	六	六	五	五
歷史			二	二
地理			二	二
數學	二	二	二	二
理科			二	二
圖畫	一	一	一	一
家事				一
裁縫	四	四	四	四
音樂	二	二	二	二
體操	三	三	三	三
計	二八	二八	二八	二八

補習科

學科目	第一學年 毎週時數	第二學年 毎週時數
修身	一	一
國語	四	四
家事	四	四
裁縫	四	四
體操	二	二
計	一五	一五

手藝	編物、組糸、嚢物		
計			二五

學年　學年は四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る

一學年を分て三學期とし第一學期は四月一日より八月三十一日まで、第二期は九月一日より十二月三十一日まで、第三學期は翌年一月一日より三月三十一日までとす

入學期　入學は每學年の始め卅日以內に於て之を許す但缺員あるときは第二期の始め十日以內に於て臨時入學を許すことあるべし

入學資格　第一學年に入學を許すべき者は年齡十二年以上にして尋常小學校の課程を卒へたる者又は之と同等の學力を有する者とす

第二學年以上に入學を許すべき者は相當の年齡に達し前各學年の課程を卒りたる者と同等の學力を有する者とす

補習科に入學を許すべき者は年齡十六年以上にして本校及其他の高等女學校の課程を卒りたる者とす

學費

一、受驗料

二、入學料

三、授業料

一、入學せんとする者は受驗料金五拾錢を納め（無試驗入學者は納むるに及ばず）入學を許されたる者は入學料金貳圓を納むべし

二、授業料は一箇月金貳圓五拾錢とし生徒出席の有無に拘らず之を徵收す但八月分は之を徵收せず

○東京高等女學校（私立）

所在　芝區三田四國町二番地

目的　高等女學校令及仝施行規則により女子に須要の高等普通教育を爲すにあり

分科　本科補習科の二種とす

本科の學科目は修身、國語、英語、歷史、地理、數學、理科、圖畫、家事、裁縫、音樂、體操とす

補習科の學科目は修身、國語、數學、裁縫、家事、體操、教育とす

修業年限

一、本　科　四ケ年

二、補習科　一ケ年

東京高等女學校

東京高等女學校

學年　四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る

入學期　每學年の始めに行ふ但缺員あるときは各學期の初めに入學を許す

入學資格、一、本科一學年に入學するものは尋常小學校卒業又は之と仝等以上の學力を有し年齡滿十二歲以上なること

二、補習科に入るべき者は高等女學校卒業の者に限る

學費、一、束修金貳圓

二、入學受驗料金五拾圓

三、授業料每月金貳圓五拾錢

學科課程　本科補習科の學科課程左の如し

學科目＼學年	第一學年 每週時數	第二學年 每週時數	第三學年 每週時數	第四學年 每週時數
修身	人倫道德ノ要旨作法 二仝上	二仝上	二仝上	二
國語	講讀、作文、習字 六仝上	六仝上	六講讀、作文、習字 五仝上	五
英語	講讀、書取、習字 三仝上	三講讀、會話、文法、作文 三仝上	三仝上	三
歷史	本邦歷史 一仝上	外國歷史 一仝上	外國歷史 一仝上	二
地理	本邦地理 二仝上	外國地理 二仝上	地文 一仝上	一
數學	筆算、整數分數、小數 二仝上	筆算、比例百分算 二仝上	筆算、百分算、開平開立幾何初步 二仝上	二
理科	植物、動物 二	動物生理衛生 二	鑛物、化學物理 二	二
圖畫	自在畫 一	用器畫 一	圖案 一仝上	一
家事			衣、食、住 二仝上	二
裁縫	通常衣服裁方、縫ヒ、繕ヒ 四仝上	裁方、縫ヒ、繕ヒ 四仝上	裁方、縫ヒ、繕ヒ 四仝上	四
音樂	單音唱歌 二仝上	單音唱歌 二仝上	單音唱歌複音唱歌 二仝上	二
体操	普通体操遊戲 三仝上	普通体操遊戲 三仝上	普通体操遊戲 三仝上	三
合計	二八	二八	二八	二八

第九條　補習科の學科課程左の如し

○敷德高等女學校（程度）

學科	課程	毎週時數							
修身	人倫、道德實踐、方法	一	一	一	一	一	一	一	一
國語	講讀、文法、作文、習字	三	三	三	三	三	三	三	三
數學	珠算、算術全体復習								
裁縫	通常、衣服、裁方、縫方、繕方	三	三	三	三	三	三	三	三
家事	衣食住一班演習								
音樂	複音唱歌、樂器使用法	一	一	一	一	一	一	一	一
体操	普通体操、遊戲	二	二	二	二	二	二	二	二
教育	教育學ノ原理、教授法								
合計		二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八

所在　小石川區表町八十八番地

目的　本校は明治三十一年勅令第三十一號及全三十四年文部省令第四號に依り女子に須要なる高等普通教育を施す

修業年限　本校に補習科を置く

本科の修業年限は四ヶ年補習科の修業年限は一ヶ年とす

學年　學年は四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る

第一學期は四月一日より八月三十一日に至る

第二學期は九月一日より十二月三十一日に至る

第三學期は翌年一月一日より三月三十一日に至る

入學期　入學は學年の始めに於て之を許可す

但し缺員あるときは第二學期及第三學期の始より十日以内に臨時入學せしむることあるべし

入學資格　滿十二歳以上にして尋常小學校卒業の者は本科第一學年に入學を許す

尋常小學校を卒業せざる者は國語算術日本歴史日本地理に就き試驗を施行し前項の入學志願者と同等以上の學力ありと認めたるときは入學を許可することあるべし

第二學年以上に入學せしむべき者は相當年齢に達し且つ前各學年の程度に於て其の各學科

目に就き施行する試驗に合格したる者に限る
補習科に入學せしむべき者は修業年限四ヶ年以上の高等女學校卒業の者とす

學費、

一、入學料　金壹圓
二、檢定料　金五拾錢
三、授業料　月額金貳圓とす（但し八月は之を徵收せず）

學科課程　本科及補習科の學科課程左の如し

本科學科課程及教授時數

學科目＼學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
	毎週時數	毎週時數	毎週時數	毎週時數
修身	人倫道德の要領、作法 二	同上 二	同上 二	同上 二
國語	講讀、文法及作文、習字 六	同上 六	同上 六	讀方、書取、會話、作文、文法 三
英語	發音、綴字、讀方、譯解、書取、會話、習字 三	同上 三	同上 三	同上 三
歷史	日本歷史 三	同上 三	東洋歷史 三	西洋歷史 三
地理	日本地理 三	外國地理 三	同上 三	地文 三
數學	算術 二	同上 二	同上 二	幾何初步 二
理科	植物、動物 二	動物生理及衛生 二	化學及鑛物 二	物理 二
圖畫	自在畫 一	同上 一	同上 一	自在畫、考案畫 一
家事			衣食住 二	養老、育兒、看病、整理、經濟、家計簿記 三
裁縫	縫方、裁方、繕方 四	同上 四	同上 四	同上 四
音樂	單音唱歌 二	同上 二	單音唱歌、複音唱歌 二	同上 二
體操	普通體操、遊戲 三	同上 三	同上 三	同上 三
合計	二八	二八	二八	二八

補習科學科課程及教授時數

學科	課程	毎週時數
修身	人倫道德ノ要領、作法	三
國語	講讀、文法、作文、習字	七
英語	講讀、會話、文法、作文	三
歷史	日本歷史	二
數學	幾何初步、代數初步	一
圖畫	自在畫	一
家事	衣食住一班、	二
裁縫	通常衣服裁方、縫方、繕方	四
音樂	複音唱歌、樂器使用法	一
體操	普通體操、遊戲	一
教育	教育ノ原理、教授法	二
合計		二八

但し修身を除き一科若くは數科を隨意科となすことを得

○東京女子商業學校（私立）

所在、神田區仲猿樂町（三崎町電車停留所前）

目的、高等普通の智識技能を有し經濟思想と實用とを兼ねたる貞淑の婦人を養成し又有爲にして節操に富める店員事務員を養成するにあり

學科、本科、技藝科、速成科、專攻科の四科を置く

修業年限、一、本科三ケ年　二、技藝科三ケ年　三、速成科一ケ年　四、專攻科一ケ年

入學資格

東京女子商業學校

東京女子商業學校

一、本科　第一學年　尋常小學校卒業者及之れと仝等の學力ある者
　　第二學年　高等小學校卒業者及高等女學校第二學年修了者又は之れと仝等の學力ある者
二、技藝科　本科に仝じ
三、速成科　尋常小學校卒業以上の者
四、專攻科　高等女學校卒業者又は之れと仝等以上の學力ある者

學年を三學期に分つ　四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る

入學期　學年の始めとす　但欠員の場合臨時入學を許す

學科課程　各科の學科課程左の如し

本科

學科＼學年	第一學年 時數	第二學年 時數	第三學年 時數
修身	道徳ノ要旨二同	上二	同上二
國語	講讀、習字八同	上七	同上七
作文			

學科＼學年	第一學年 時數	第二學年 時數	第三學年 時數
商事要項	大意一	通論、賣買、税關二	錄、海運、保險三
簿記	家計簿記一	商業簿記三	銀行簿記三
算術	普通算術三	珠算三	同上三
歷史	日本歷史三	日本商業地理二	外國商業地理二
地理			
商品			
英語	講讀、習字四	同上四	同上四
會話、作文			
裁縫	通常衣類ノ裁方四	同上四	同上四
裁縫	通常衣類ノ裁方	同	同
理科	日常生活ニ必須ノ事項二	同生理衛生二	上
圖畫	諸物ノ形体色彩二		
家事		衣食住、育兒、看病二	同上二
新聞雜誌			割烹實習二
法制經濟			婦徳ノ養成ニ資スベキ事項二
			同上二
			商況、物價、廣告一
			大意二

實習						
合計						

技藝科

入學資格本科に同じ

修業年限三箇年

學科	學年	時數	第一學年	時數	第二學年	時數	第三學年	時數
修身	道德ノ要旨	三	同	三	同	三	同	三
裁縫	通常衣類ノ裁方縫方	一	同	一	同	一	同	一
手藝	編物	一	袋物	一	袋物	一	袋物	一
圖畫	諸般ノ形体色彩	一	同	一	同	一	同	一
國語	講讀、習字、作文	五	同	五	同	五	同	五
算術	珠算	三	珠算	三	珠算	三	珠算	三
實習	賣買取引事務取扱							
合計		三〇		三二		三二		三二

商業	大意	二	商事要項	二	簿記	二
家事			衣食住、育兒	二	同	上
合計		三	看病割烹實習	二		上
備考	商業以下は一科若くは數科を欽き其時間を裁縫手藝に充つることを得			三		三

速成科

修業年限一箇年

尋常小學校卒業以上の者を入學せしむ

修身	道德ノ要旨	一	講讀	講讀	四
習字	階行草	二	作文	普通文	一
商事要項	通論、賣買、取引所、銀行、運送、倉庫、保險	二	簿記	家計簿記、商業簿記、銀行簿記	四
算術	和洋計算	三	地理	日本商業地理	一
合計		八			一

專攻科　修業年限一箇年

高等女學校卒業生及之と同等の學歷又は學力ある者を入學せしむ

修身	道德ノ要旨	講義	一
內外法制經濟	本邦法制	講義	二
	經濟原論		
英語	講讀、習字、會話、作文		四
算術	商業算術		三
商事要項	通論、賣買、取引所、銀行、運送、倉庫、保險		四
簿記	家計簿記、商業簿記、銀行簿記		五
商業實習	賣買取引事務取扱		二
地理商品	內外商業地理、商品		三
新聞雜誌	婦德常識養成事項、商況、物價、廣告		二
合計			三〇

備考　生徒の企望により速記術及「タイプライター」を課す

學費　一、入學金　金壹圓
一、授業料　一本科、技藝科各一ヶ年金貳拾四圓
　　專攻科一ヶ年金拾八圓
　　專攻科一ヶ年參拾六圓
　　但し月割分納を許す

○東京女學校（私立）

所在　麹町區飯田町二丁目三十一番地九段中坂下

目的　女子をして質素貞淑なる婦德を涵養し實用に適切なる智識技能を修得せしむるにあり

修業年限
一、本　科　三ヶ年
二、裁縫專修科　二ヶ年

學年　四月に始まり翌年三月に終る

入學資格　本科及裁縫專修科一年に入學を許すべき者は尋常小學校卒業若くは之と同等以上の者とす本科二年へは高等小學第一學年修學者

學費　一、入學金　金　壹　圓

東京女學校

二、授業料本科一ヶ月金壹圓五拾錢專修科一ヶ月金壹圓貳拾錢

學科課程　本校本科及裁縫專修科の課程左の如し

學科目	毎週教授時數 第一年	第二年	第三年
修身	一 人倫道德ノ要旨作法	一同 上	一同 上
國語	九 講讀作文文法習字	七同 上	七同 上
數學	三 珠算分數小數比例	三比例歩合算珠算	三歩合算開方求積珠算
家庭理科	二 家庭ニ關スル自然物	二同上 生理、衛生	二同 上
地歷	二 日本地理日本歷史	二同 上	二外國地理外國歷史
家事		二 衣食住	二育兒、看護家庭經濟
裁縫手藝	八 普通衣服裁方縫方編物	八同 上	八同 上 洋服裁縫初歩
圖畫	一 自在畫	一同 上	一同 上
音樂	一 單音唱歌	一同 上	一單音唱歌複音唱歌
英語	二 讀方譯解作文會話	二同 上	二同 上
體操	一 普通體操遊戲	一同 上	一同 上
合計	二八	二八	二八

但英語は隨意科とし授業時間外に於て教授す

裁縫專修科課程及教授時數

學科目	毎週教授時數 第一年	第二年
修身	一 人倫道德ノ要旨作法	一同 上
裁縫	二七 普通衣服ノ裁方縫方洋服裁縫ノ初ヲ	二七同上 ミシン使用法
合計	二八	二八

但本科中の某科を兼修することを得

○別科

科目　造花、生花、點茶、割烹とし每週授教等時間二時間以上六時間以內とす但制
烹は臨時開講

○日本實業女學校（私立）（通稱鳥海女學校）

所在　神田區小川町一番地
目的　本邦固有の婦德を涵養し女子をして社會の進運に順應し齊家若くは自營上必要なる智識を修養せしむるにあり
分科　裁縫本科、裁縫速成科、裁縫高等科、商業科、速成事務員養成科、實用英語科とす
學年　本校の新學期は四月六日及九月十一日とす
入學期　每學期の始めに入學を許す但缺員ある時は臨時入學を許す
入學資格　左の資格を要す
一、裁縫本科　尋常小學科卒業以上の學力を有する者
二、裁縫速成科　高等小學二學年修業以上の學力を有し且多少裁縫の心得ある者
三、裁縫高等科　本科若くは速成科以上の學力ある者
四、商業科及實用英語科　高等小學二學年修業以上の學力ある者
五、速成事務員養成科　高等小學卒業以上の學力ある者

學費
一、入學金　各科共金壹圓
二、授業料
裁縫本科　金一圓
裁縫高等科　金壹圓八拾錢
速成事務員養成科　金壹圓貳拾錢
刺繍科　金五拾錢
生花茶道科　金七拾錢
裁縫速成科　金壹圓五拾錢
商業科　金壹圓八拾錢
實用英語科　金壹圓
編物科　金五拾錢
教育教授法　金參拾錢
隨意科中、家政國語、算術は授業料を要せず
「ミシン」を使用するものは金五錢を納むべし

寄宿舍　地方遊學者の便を計り人員を限り寄宿を許す
寄宿食費　金六圓　舍費　金壹圓

學科課程　本校に於ける各科の學科課程左の如し

○裁縫本科（一ヶ年）

學科	毎週時間	
修身	一	人倫道德の要旨及作法
裁縫	三三以内	一般和服の裁方、縫方、繕方
家政	一	衣食住、看護、家事經濟、家計簿記
國語	一	講讀、作文
算術	一	加減乘除、小數分數、比例、利息算
刺繍	四	綴繍、平繍、ばー繍、すが繍、すから繍、肉入繍
編物	四	各種ノ編物
生花	二	池ノ坊
茶道	二	利休流

該科は裁縫を初歩より正式に教授し修身及裁縫を必修科とし其他を隨意科となす
隨意科を修めざる者には裁縫を課す

○裁縫速成科　（六ヶ月）

學科	毎週時間	
修身	一	人倫道德ノ要旨及作法
裁縫	三三以内	一般ノ和服並ニ簡易なる洋服

該科は多少の心得ある者が短日月の間に和服ノ大略並に簡易なる洋服を學ばんとするに適し外ニ隨意科として家政、國語、算術、刺繍、編物、生花、茶道等を修むることを得ること本科に仝じ

○裁縫高等科　（六ヶ月）

學科	授業時間	
修身	一	人倫道德の要旨並ニ作法
裁縫	三三以内	一般ノ和洋服、古、服、附汚點拔法、洗濯法等

該科は本科若くは速成科卒業以上の力ある者が和服の高尚なるもの及び洋服の簡易なるものを速成に修むるに適し教員志望者の爲めには外に教育、教授法等を授け其他家政、國語、算術、刺繍、編物、生花、茶道の一科若くは數科を隨意修むるを得

○商業科（二ヶ年）

學科	每週時間	第一學年	每週時間	第二學年
倫理	一	人倫道德の要旨並ニ作法	一	商業道德及處世心得
國語	四	講讀、文法、作文	三	仝上
英語	四	譯讀、會話、作文	五	仝上
數學	二	和洋商業算術	二	仝上
簿記	二	家計簿記及單式商業簿記	二	複式商業簿記並ニ銀行簿記
商事要項	二	通論、賣買、銀行	二	海運、陸運、保險、倉庫、取引等
家政	一	衣食住、養老	一	看護、育兒、家事經濟
習字	一	楷行、草	一	仝上
裁縫	一二	一般ノ和服並ニ簡易ナル洋服	一二	仝上

該科は實業家の家庭を整理し若くは銀行、會社等の事務員たらむとする者に必須の教育を授け外に隨意科として生花、茶道、編物、袋物等を修めしむ

○速成事務員養成科（六ヶ月）

學科	一週時間
修身	一 商業道德及處世ノ得
國語	一 講讀、作文
習字	一 行、草、並算用數字書法
簿記	四 原理、商用簿記、銀行簿記、官用簿記
商事要項	一 通論、賣買、銀行、海陸運送、保險、倉庫、取引所等
英語	二 講讀、會話、作文
算術	二 和洋商業算術

○實用英語科

學科	一週時間	普通科（一ヶ年）	一週時間	高等科（一ヶ年）
英語	一二	讀方、習字、綴方、書取、譯解、文法、會話	一二	讀方、書取、譯解、文法、會話、作文

談科は普通實用の英語を速成的に學ばんとする者のために設けたるものにして就中官衙銀行會社等實用の英語を要する方面に就職せんとする者並に受驗準備者等に適す

○東洋女藝學校（私立）

目的　我國固有の婦德を涵養し女子をして齊家若くは自營上必要なる知識と技藝とを修習せしむるにあり

分科　裁縫科、刺繍科、造花科の三科とす

裁縫科は和服、洋服古代服、編物一切

刺繍科は「ハンカチーフ」半襟、幅紗、額、衝立、屏風、花鳥、山水、一切造花科は摘み細工並造花一切

修業年限　本科、高等科、專修科及速成科に分つ

一、本科　三ヶ年とす

專ら技藝を主とし普通學をも併せ教授す

二、高等科　三ヶ年とす

本科を卒業し尚研究を爲さんとする者の爲めに置く

三、專修科　二ヶ年

普通學を望む技藝のみを修めんとするもの爲めに置く

四、速成科　十ヶ月

技藝の速成を望む者の爲に置く

入學資格

一、本科　本科一年には尋常小學卒業者又はこれと同等以上の技藝學力を有する者

二、高等科　本科卒業者又はこれと同等以上の技藝學力を有する者

三、專修科　第一年は尋常小學卒業の者又はこれと同等の學力を有し且年齡十五歲以上の者

學期　四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る

入學期　每學年の始めとす但缺員あるときは臨時入學を許す

學費

一、入學金　金壹圓

二、授業料

本科、專修科　一ヶ月　金貳圓

高等科　同　金貳圓五拾錢

東洋女藝學校

東洋女藝學校

寄宿舍　寄宿舍の設備あり
一、舍費　金壹圓
二、寄宿費　金壹圓五拾錢
（但食費は自炊法によらず實費を以て毎月精算す）

學科課程　各科の學科課程左の如し

		讀書	作文	習字	地歷	數學	圖畫	理科	家事	手藝	教育及教授法	體操	實技	合計
本科	第一年	一六		二	二	二	二				二	一	一五	三三
	第二年	五		二	二	二					二	一	一四	三三
	第三年	五		二		二	二	二	二	二		一	一四	三三
高等科	裁縫	四		一		二			二			一	一八	三三
	刺繍	四		一			六	二			二	一	一四	三三
	造花	四		一			六	二			二	一	一四	三三

第七條　科目、豫科、本科、高等科には前條各學科を必習せしめ專修科には倫理、家事、習字の三科を授け速成科には倫理の外他の學科を除く
英語、割烹、挿花、點茶等は希望に應じて科外に之を教授す

	專修科	一年及二年	
	裁	一	一
	刺	一	
	造		一
		二	
		二	
		三	
		三	
		二	
		二	
		二	
		一	一
		一二四	三三

○扶桑女學校（私立）

所在　神田區西小川町一丁目二番地

目的　本校の目的は女子に緊要にして且適當なる教育上の知識技能を授け以て善良なる家庭の主腦者を養成するに在り

本校生徒の定員は本科四百人專修科百人研究科を五十人とす

修業年限　本校に本科專修科及研究科を置き修業年限は五ヶ年とし專修科研究科は一ヶ年乃至三ヶ年とす

學年　本校の學年は各科を通じて四月一日より翌年三月三十一日までとし更に之を

學期に分ち第一學期は四月十一日より七月二十四日まで第二學期は九月十一日より十二月二十四日まで第三學期は翌年一月八日より同三月三十一日までとす

學科目

一、本科は修身、教育、國語漢文、地理歴史、數學、理科、家事裁縫、圖畫、音樂、體操、英語の十一科目とす

二、專修科は音樂科裁縫科とす

音樂科は修身、國語、教育、音樂、裁縫科は修身、國語、算術、圖畫、裁縫とす

三、研究科は修身教育を必須科目とし其他は五科以内專修するものとす

學科課程左表の如し

本科

學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
時數	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一
修身	人倫道徳ノ要旨 一	同上 一	同上 一	同上 一	倫理學及倫理學史 一
教育				教育大要及教育史 二	教育學及教育史 二
國文講讀作文	漢文講讀作文文法 五	同上 五	同上 五	同上 五	同上 五
地理歴史	地理歴史 三	同上 三	東洋史及外國地理 二	西洋史及地理 二	同上 二
數學	算術四則及比例 四	比及比例百分算 三	比例及百分算及開平開立初歩 三	開平開立及代數學初歩 三	求積及代數幾何學初歩 三
理科	植物及動物學初歩 二	生理學大要 二	化學及物理 二	生理博物及物理化學 四	算術及代數幾何初歩 六
家事裁縫	裁縫方及編物 五	同上 五	家事大要裁方及縫方 五	衣食住看護調理經濟育兒養老及和洋裁縫 四	同上 四
圖畫	自在畫 二	同上 二	自在畫及用器畫 二	同上 二	同上 二
音樂	單音唱歌 二	同上 二	複音唱歌及樂使用法 二	同上 二	同上 二
體操	遊戲及體操 二	同上 二	同上 二	同上 二	同上 二
英語	音法綴字讀ミ書キ話シ方 三	同上 三	同上 三	同上 三	同上 三

研究科

學年	第一學年	第二學年
時數	十	十
國文講讀作文文法	同上	同上
教育學及教育史	教育學及教育史	教育學及教育史
倫理學及倫理學史	倫理學及倫理學史	倫理學及倫理學史
教授法	教授法	教授法

音樂專修科

學科	課程	三八	三八	三〇	三〇	三〇	三六
身修	人倫道德ノ要旨	一	一	一	一	一	一
國語	國文講讀、唱歌解釋	三	三	二	二	二	二
教育	教ノ大要、唱歌教授法	二	二	二	二	二	二
音樂	唱歌、風琴、樂理（樂典寫譜）、唱歌遊戲、樂器調律	二八	二八	二四	二四	二四	二四
計		三四	三四	三一	三一	三一	三一

毎週教授時數

裁縫專修科

學科	第一學年	第二學年	第三學年
修身	人倫道德ノ要旨 一	同 上	同 上
國語	國文講讀、習字、作文 三	同 上	同 上
數學	算術四則 二	同 上	同 上
圖畫	自在畫、用器畫 一	同 上	同 上
裁縫	運針、小裁中裁大裁襦袢、小裁中裁大裁單衣袷綿入羽織綿入羽織帶袋物等裁方 二八	絹布衣類小裁中裁大裁單衣羽織破布合羽小裁中裁大裁男女袴丸帶足袋西洋前掛等裁方縫方	男道行吾妻コートシャツ小裁中裁大裁ヅボン下小供洋服類單衣重比翼夜具等裁方縫方
計	三四		

毎週教授時數

入學資格　左の如し

一、本科及裁縫科は年齢十二歳以上にして尋常小學科卒業者若くは之と同等以上の學力を有するもの又中途入學を望むものは試驗により相等級に編入するものとす

二、音樂科　年齢滿十七歳以上高等小學卒業以上のもの

三、研究科　年齢滿十七歳以上にして本校本科卒業若くは高等女學校卒業或は之と

入學期　同等以上の學力を有するもの
學費　毎學期の始とす

一、授業料　本科研究科各貳圓とし毎月五日までに納むる可し
二、入學料　金壹圓とす
三、受驗手續料　金壹圓

千代田高等女學校（私立）

所在地　麹町區中六番町六番地
目的　女子に須要なる高等普通教育を施すを以て目的とす
分科目　本科の外に選修科及研究科を置く
學科目　各科の學科目を定むること左の如し

一、本科
必修科目　修身、國語、英語、歷史、地理、數學、理科、圖畫、家事、裁縫、音樂、體操、
隨意科目　和歌、編物、點茶、挿花、割烹
一、選修科

必修科目　修身、國語、數學、家事、裁縫
隨意科目　英語、歷史、地理、理科、和歌、圖畫、音樂、體操、編物、點茶、挿花、割烹
一、研究科
必修科目　修身
隨意科目　國語、和歌、家事、裁縫、圖畫、音樂、編物、點茶、挿花、割烹

修業年限　本科の修業年限は四箇年、選修科は三箇年、研究科は二箇年とす
學年　學年は四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る學年を左の三學期に分つ
第一學期　四月十一日より七月二十日に至る
第二學期　九月十一日より十二月二十四日に至る
第三學期　一月八日より三月三十一日に至る
學科課程　各科の學科課程及毎週教授時數は別表の如し

本科

學科目＼學年	第一學年 時數	第二學年 時數	第三學年 時數	第四學年 時數
修身	倫理道徳ノ要旨、作法 二	同 二	同 二	同 二

國語	講讀、作文、習字	六	同上	六	講讀、文法、作文、習字	六	講讀、文法、作文習字文學史	六
英語	講讀、書取、習字	三	同上	三	講讀、會話、書取、習字	三	同上	三
歷史	本邦歷史	一	同上	一	外邦歷史	一	同上	一
地理	本邦地理	一	同上	一	外邦地理	一	同上	一
數學	筆算、整數、小數、分數	二	同上	二	筆算、比例、百分算	二	幾何初步代數初步	二
理科	植物	一	動物	一	生理衛生	一	物理化學	一
圖畫	自在畫	一	同上	一	同上	一	同上	一
家事					衣食住	一	育兒看護法	一
裁縫	普通衣服ノ裁方縫方、繕方	六	同上	六	同上	七	同上	七
音樂	單音唱歌	二	同上	二	單音唱歌複音唱歌	一	同上	一
體操	普通體操	三	同上	三	同上	三	同上	三
合計		二八		二八		二八		二八

選修科

學科目＼學年	第一學年	每週時數	第二學年	每週時數	第三學年	每週時數
修身	人倫道德ノ要旨作法	二	同上	二	同上	二
國語	講讀、作文、習字	六	同上	六	講讀、文法、作文、習字	六
數學	整數、分數、小數	二	同上	二	比例、百分算	二
家事			衣食住	一	育兒、看護	一
裁縫	普通衣服ノ裁方縫方、繕方	一八	同上	一七	同上	一七
計		二八		二八		二八

入學期　定期入學は學年の始に於て許可す入學志願者募集員數に超過するときは選拔試驗を行ふ

但生徒に缺員あるときは每學期の始めに於て試驗の上臨時入學を許可することあるべ

入學資格　本科及選修科第一學年級に入學を許すべき者は高等小學校第二學年修業又は之と同等の學力を有し年齡十二年以上の者とし二學年級以上に入學を許すべき者は相當年齡に達し前各學年級の課程を卒へたる者と同等の學力を有する者たるべし

研究科第一學年に入學を許すべき者は高等女學校（四箇年以上の課程）卒業の者に限る

學費

受驗料　束修及授業料は左の如し

受驗料　五拾錢　束修　一圓　授業料　貳圓

○東京裁縫女學校（私立）（通稱渡邊女學校）

所在　本鄉區東竹町三十三番地

目的　女子の淑德を涵養し裁縫家事其他女子に須要なる實用の智識技藝を授け並に其教員たらんとする者を養成するにあり

學科　本校には本科、速成科、普通科、高等科、師範科、高等師範科、高等師範別科、研究科を置く

修業年限　左の如し

一、本科　二ケ年　四、師範科　二ケ年　壹圓

二、速成科　六ケ月　五、高等師範科　三ケ年

三、高等科　一ケ年　六、高等師範別科　二ケ年

入學資格　左の資格を要す

一、本科　年齡十二歲以上にして尋常小學校卒業者若くは之れと同等以上の學力を有する者

二、速成科、普通科、高等科、年齡十四歲以上にして裁縫の素養ある者（學力は本科に同じ）

三、師範科　年齡十四歲以上にして高等小學校第二學年修了の者（舊高等小學校卒業の者）又は之れと同等以上の學力を有し裁縫及家事科教員たらんと欲する者

四、高等師範科　年齡十六歲以上にして女子師範學校高等女學校裁縫科及家事教員たらんとするものにして左の資格を要す

イ　修業年限四ケ年以上の高等女學校卒業者

ロ　專門學校入學檢定規程による試驗檢定の合格者

ハ　專門學校入學者檢定規定第八條第一號により一般の專門學校に關し指定を受けたる者

二　小學校本科正教員及尋常小學校本科正教員の免許狀所有者

五、高等師範別科　年齢十六歳以上にして女子師範學校、高等女學校裁縫科、家事科教員たらんことを志望し高等小學校を卒業したる者又は之と同等以上と認むべき者の學力ある者

入學期　毎學年の始めとす

但師範科、高等師範學校、高等師範別科を除き缺員あるときは臨時入學を許す

授業料、入學料、受驗料　左の如し

授業料額左の如し

一、本科　金拾八圓（月額金壹圓五拾錢）

二、速成科、普通科、高等科、各金貳拾四圓（月額金貳圓）

一、師範科　金參拾圓（月額金貳圓五拾錢）

二、高等師範科高等師範別科各金六拾圓（月額金五圓）

一、研究科　金拾貳圓（月額金壹圓）

受驗料、入學料、隨意科授業料、機械使用料、及手數料は左の如し

一、受驗料（入學試驗、及追試驗を受くる者）　金壹圓

二、入學料　金壹圓

一、隨意科修業料

一、針（ミシン）及（アイロン）使用料　毎一科一ヶ月金五拾錢

寄宿舍　寄宿舍の設備あり

一、舍費一ヶ月　金壹圓

二、食費　金七圓

學科課程　各科の學科課程左の如し

本科

學科	第一學年 毎週教授時數	第二學年 毎週教授時數
修身	人倫道德ノ要旨 一	全上
裁縫	運針及普通和服裁縫全般 二七	全上
家事	衣食住、家事經濟 二	全上
國語	講讀、文法、作文、習字 （四）	全上
教育	教授、教授及管理ノ大要 （二）	全上

挿花	（六ヶ月每週二時）	
點茶	（六ヶ月每週四時）	普通茶ノ湯
刺繍	（六ヶ月每週四時）	普通刺繍
編物	（六ヶ月每週四時）	毛糸絹糸編物
禮法	（三ヶ月每週三時）	女禮式
割烹	（六ヶ月每週四時）	和洋普通料理
造花	（六ヶ月每週四時）	普通造花

備考（國語以下は隨意科とし其每週敎授時數十時二を超えざる範圍內に於て生徒の希望により之を選擇せしむ

速成科

學科	課程
修身	人倫道德ノ要旨

裁縫	運針及普通和服裁縫	
家事	衣食住、家事經濟	
國語	講讀、文法、作文、習字	
敎育	敎育、敎授及管理ノ大要	
挿花	（六ヶ月每週二時）	生花
點茶	（六ヶ月每週四時）	普通茶ノ湯
刺繍	（六ヶ月每週四時）	普通刺繍
編物	（六ヶ月每週四時）	毛糸絹糸編物
禮法	（三ヶ月每週三時）	女禮式
割烹	（六ヶ月每週四時）	和洋普通料理
造花	（六ヶ月每週四時）	普通造花

學科	課程	每週敎授時數
修身	人倫道德ノ要旨	一
裁縫	運針及普通和服裁縫	二九
家事	衣食住、家事經濟	（二）
國語	講讀、文法、作文、習字	（四）
敎育	敎育、敎授及管理ノ大要	（二）

備考（家事以下は隨意科とし其毎週教授時數十二時を超えざる範圍内に於て生徒の希望により之を選擇せしむ

普通科

學科	課程	毎週教授時數
修身	人倫道德の要旨	一
裁縫	運針普通和服裁縫全般	二九
家事	衣食住、家事、經濟	（二）
國語	講讀、文法、作文、習字	（四）
教育	教育、教授及管理ノ大要	（二）
挿花	（六ヶ月毎週二時）	生花
點茶	（六ヶ月毎週四時）	普通茶ノ湯
刺繍	（六ヶ月毎週四時）	普通刺繍
編物	（六ヶ月毎週四時）	毛糸絹糸編物
禮法	（三ヶ月毎週三時）	女禮式
割烹	（六ヶ月毎週四時）	和洋普通料理
造花	（六ヶ月毎週四時）	普通造花

備考（家事以下は隨意科とし其毎週教授時數十二時を超えざる範圍内に於て生徒の希望により之を選擇せしむ

高等科

學科		毎週教授時數
第一學期（前期）	修身	人倫道德の要旨	一
	裁縫	中古以後ノ和服裁縫	二九
	家事	衣食住、家事經濟	（二）
	國語	講讀、文法、作文、習字、	（四）
第二學期（後期）	修身	人倫道德の要旨	一
	裁縫	洋服製圖及裁縫	二九
	家事	衣食住、家事經濟	（二）
	國語	講讀、文法、作文、習字、	（四）

教育	教育、教授及管理ノ大要	（六ケ月毎週一時）	全上
挿花		（六ケ月毎週二時）	（二）全上
點茶		（六ケ月毎週四時）	普通茶ノ湯
刺繍		（六ケ月毎週四時）	普通刺繍
編物		（六ケ月毎週四時）	毛糸絹糸編物
禮法		（三ケ月毎週三時）	女禮式
割烹		（六ケ月毎週四時）	和洋普通料理
造花		（六ケ月毎週四時）	普通造花

備考（家事以下は隨意科とし其毎週教授時數十二時を超えざる範圍内に於て生徒の希望により之を選擇せしむ）

師範科

學科	第一學年毎週教授時數	第二學年毎週教授時數
修身	人倫道德ノ要旨	一全上
教育	教育學、教授法、管理法	二全上
國語	講讀、文法、作文、習字	四全上
裁縫	運針及普通和服裁縫	二全上
家事	衣食住、家事經濟	二全上
染織及衣類整理	織物ノ原料産地及染方縫方衣服洗濯、害虫豫防衣服着脱注意及保存	（二）全上
挿花	（六ケ月毎週二時）	全上
點茶	（六ケ月毎週四時）	普通茶ノ湯
刺繍	（六ケ月毎週四時）	普通刺繍
編物	（六ケ月毎週四時）	毛糸絹糸編物
禮法	（三ケ月毎週三時）	女禮式

學科課程	毎週教授時數 第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
教育	二	二	二
國語	四	四	四
裁縫	一八	一八	一八
染織及衣類整理	二	二	二
割烹	（六ヶ月毎週四時）		
造花	（六ヶ月毎週四時）		
和洋普通料理			
普通造花			

備考（染絨及衣類整理以下は隨意科とし其の毎週教授時數十二時を超えざる範圍内に於て生徒の希望により之を選擇せしむ

高等師範科

學科課程	毎週教授時數 第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
教育	二	二	二
國語	四	四	四
裁縫	一八	一八	一八
染織及衣類整理	二	二	二
家事	衣食住、育兒、家事經濟、簿記、割烹	三	三	三
挿花	（六ヶ月毎週二時）			
點茶	（六ヶ月毎週四時）			
刺繍	（六ヶ月毎週四時）			
編物	（六ヶ月毎週四時）			
禮法	（三ヶ月毎週三時）			
割烹	（六月ヶ毎週四時）			
造花	（六ヶ月毎週四時）			
人倫道德ノ要旨				
應用心理學、教育學、教授法、管理法				
講讀、文法、作文、習字				
和服裁方縫方、洋服製圖法及裁方縫方				
和洋被服裝飾ノ沿革				
織物ノ原料産地及染方織方、衣類洗濯、害蟲豫防、衣類着脱注意及保存				
生花				
普通茶ノ湯				
普通刺繍 〃				
毛糸絹糸編				
女禮式				
和洋普通料理				
普通造花				

備考（挿花以下は隨意科とし其毎週教授時數十六時間を超えざる範圍内に於て生徒の希望により之を撰擇せしむ

○裁縫實修女學校（私立）

所在　神田區北神保町三番地（九段俎橋通り）

裁縫實修女學校

目的　女子に和洋裁縫並に手藝を教授し之を練習せしむると同時に禮儀作法に習熟せしめ以て藝能德性兩全の婦人を養成するにあり

分科　本校に本科、專科、高等科を置く

修業年限

一、本科　二ヶ年

二、專科（速成科）一ヶ年

三、高等科　六ヶ月

學年　四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る

學期　學年を二學期とす（前學期は自四月一日至九月三十日、後學期自十月一日至三月三十一日）

休業日

學科課程　各科の學科課程は左の如し

本科　學科程度竝授業時間配當表

學科目 ＼ 學年	週間時數 一學年	週間時數 二學年
女禮式	道德の要旨、坐作、進退、應對、受授、進撰ニ關スル心得及實習	同上、寢食、服裝、訪問、迎接、通信、贈答、嬰應、公會、吉凶慶弔、忌服等ニ關スル心得
裁手藝	小細工物	和服ノ積方、裁方、縫方
國語	講讀、文法、作文	同上
家事	衣食住、養老、育兒、看病及一家經濟ノ要旨	同上
算術	加減乘除分數比例	同上
計	一	一

專科（速成科）學科程度竝授業時間配當表

學科目	週間時數	程度
女禮式	一	道德ノ要旨作法（實習及心得）
裁手藝	二九	和服竝洋服ノ積方、裁方、縫方
國語	三	嚢物、造花、小細工物
家事（隨意科）	一回	講讀、文法、作文
算術	一回	衣食住、養老、育兒、看病及一家經濟ノ要旨
	一同	加減乘除分數比例

計		三三	

備考　國語以下を隨意科目とす之を學修せんとする者には裁縫の時間を減して之れに充つ

高等科　學科程度竝授業時間配當表

學科目	週間時數	程度
女禮式	一	道德ノ要旨作法（實習及心得）
裁縫	二八	和服竝洋服ノ理論及實地
手藝	三	嚢物、押繪、切符、造花、小細工物
教育	一	兒童心理、教授法
計	三三	

入學期　每學期（四月、十月）の始めとす但欠員あるときは臨時入學を許す

入學資格

一、本科、年齢十四歳以上にして義務教育を修了したる者

二、專科（速成科）、年齢十八歳以上の者

三、高等科、本校の本科若くは專科卒業者又は之れと同等以上の學力を有する者

學費

一、入學料　金壹圓

本科　一ヶ月　金壹圓五拾錢

專科　一ヶ月　金壹圓八拾錢

高等科　一ヶ月　金貳圓

寄宿舍　寄宿舍の設備あり

○和洋縫裁女學校（私立）

所在　麹町區飯田町三丁目十五番地（九段中坂上）

目的　本校は婦人の齊家に須要なる和服及洋服裁縫を主とし兼て諸種の學科と手藝とを教授し其教授の內容を實踐せしめ併せて其知識及品性を養成するを以て目的となす

修業年限　本校の修業年限左の如し

一、和服裁縫本科第一部　二ヶ年

二、和服裁縫本科第二部　一ヶ年六ヶ月

和洋裁縫女學校

三、和服裁縫速成科第一部　十二ヶ月
四、和服裁縫速成科第二部　十二ヶ月
五、和服裁縫古代物科　四ヶ月
六、洋服裁縫簡易科　五ヶ月
七、洋服裁縫研究科　十ヶ月
八、裁縫教員養成科　二ヶ年
九、撰科　音樂、國語、漢文學、教育學、教授法、家政學、數學、習字、禮式、割烹、活花、點茶、手工(編物、刺繍、造花、摘み細工、袋物)等

學年　本校の學年は四月一日に始め翌年三月三十一日に終るを常例となす

學科課程　本校の學科課程左の如し

和服裁縫本科第一部

本科は滿十四歳以上尋常小學卒業者若しくは之と同等以上の學力を有する者の爲めに設く

學科＼學期	每週時間	一學期	每週時間	二學期	每週時間	三學期	每週時間	四學期
修身	一	人倫道德ノ要旨	一	前學期ノ續キ	一	仝上	一	仝上
國語	二	講讀、作文、文法、習字	二	前學期ノ續キ	二	仝上	二	仝上
算術	二	整數、分數、小數、比例	二	前學期ノ續キ	二	仝上	二	仝上
裁縫	三五	運針法簡易ナル裁方縫方	二九	前學期ノ續キ	二九	仝上	二九	仝上
家事	二	衣食住	二	前學期ノ續キ	二	養老育兒看護	二	前學期ノ續キ及家計簿記

和服裁縫本科第二部

本科は滿十五歳以上高等小學第一學年修了若くは之と同等以上の學力を有する者の爲めに設く

學科＼學期	每週時間	一學期	每週時間	二學期	每週時間	三學期
修身	一	人倫道德ノ要旨	一	前學期ノ續	一	仝上
國語	二	講讀、作文、文法、習字	二	前學期ノ續	二	仝上
算術	二	整數、分數、小數、比例	二	前學期ノ續	二	前學期ノ續歩合算、玉算

裁縫	二九	普通衣服裁方、縫方	二
家事	二	衣食住	一

和服裁縫速成科第一部

本科は是迄和服裁縫を相當に修業せし者の爲めに設く

學科	學期	毎週時間	一學期	二學期
修身	一	人倫道德ノ要旨	一	仝
裁縫	三五	衣服裁方、縫方、繕方其他總テ和服全体ノ裁縫	三五	仝

和服裁縫速成科第二部

本科は和服裁縫を相當に修め斯學相當の學歷を有し已に斯術に稍〻巧みなる者の爲めに設く

學科	學期	毎週時間	一學期	二學期
修身	一	人倫道德ノ要旨	一	前學期ノ續キ

前學期ノ續	一九	仝	上
前學期ノ續	二	養老、育兒、看護	二
		家事經濟	

裁縫	三五	衣服裁方縫方繕方其他總テ和服全体ノ裁縫及ミシン使用法並洋服初歩	三五

尙速成科第二部の生徒にして洋服裁縫二ヶ月を終りたる者後洋服簡易科に入り簡易科二ヶ月修業する者には簡易科卒業の證書を附與すべし

和服裁縫古代物科

本科は前各項の和服裁縫を卒業し又は之れと同等の技術及學力を有する者の爲めに設け專ら古代物及普通外須要の裁縫を敎授す

學科	毎週時間	課程
修身	一	人倫道德ノ要旨裁縫ニ關スル事項
裁縫	三五	專ラ古代物ノ裁縫ヲ敎授ス

洋服裁縫簡易科

本科は「ミシン」の使用法より洋式涎掛、前掛及男女小兒服等を敎授し

學科	毎週時間	課程

修身	一	人倫道德ノ要旨
裁縫	三五	洋式涎掛前掛及男女小兒洋服裁方縫方

尚洋服裁縫簡易科五ヶ月を卒業したる者引續き洋服裁縫研究科に入り五ヶ月修業する時は洋服裁縫研究科卒業の證書を附與すべし

洋服裁縫研究科

本科は洋服裁縫全般を修業せんとする者の爲めに設く

學科	毎週時間
修身	一 人倫道德ノ要旨
裁縫	三五 男女洋服各種ノ裁方縫方

裁縫教員養成科

本科は和洋服裁縫の外修身、教育、教授法及管理法、國語、數學家事及理科學を必修せしめ文部省及各府縣の試驗檢定を受け裁縫科教員たらんとする者の爲めに設く

學科	毎週時間 一學期	毎週時數 二學期	毎週時數 三學期	毎週時數 四學期
修身	一 道德ノ要旨作法	一 前學期ノ續	一 仝	一 仝
教育	二 教育ノ大意	二 前學期ノ續キ及心理ノ大意	二 論理ノ大意及教授法	二 教授法管理法
國語	八 講讀、作文、習字	八 講讀、作文、習字	六 前學期ノ續キ	六 仝
算術	八 整數、分數諸等算	八 前學期ノ續キ	六 歩合算比例求積	六 前學期ノ續キ
裁縫	一四 裁方、縫方	一四 前學期ノ續キ	前學期ノ續キ及男女普通洋服裁方	一四 前學期ノ續キ
家事			二 衣食住	二 育兒看護家計簿記
理科	二 植物、動物、生理	二 前學期ノ續キ	二 物理、化學ノ大意	二 前學期ノ續キ

但し高等女學校卒業生又は小學校本科准教員にして入學したる者は修身、教育、裁縫を除く外希望により某科目を省く事を得又本校本科を卒業したる者は希望

和洋裁縫女學校

により裁縫を省く事を得

撰科　本科は裁縫の餘暇を以て修業せしむるものたるを以て同時に手藝科二科目以上を修むることを得ず

入學

入學期　本校の入學期は毎學年の始めを常例とす

但し缺員あるときは臨時入學を許す

入學資格　本校各科（裁縫教員の養成科を除く）に入學し得べき者は滿十四歳以上品行方正の女子にして尋常小學校卒業の者若しくは之と同等以上の學力を有する者たるべし

本校裁縫教員養成科に入學し得べき者は滿十七歳以上品行方正の女子にして尋常小學校及高等小學校を通じて修業年限八ヶ年の課程を卒へたる者若しくは之と同等以上の學力を有する者にして入學試驗に合格したる者たるべし

但し左の資格の一を有する者は無試驗入學せしむ

一、高等女學校卒業生

一、小學校本科准教員

授業料及入學料　授業料を左の如し

一、和服裁縫本科第一部　一ケ月　金壹圓貳拾錢

二、和服裁縫本科第二部　一ケ月　金壹圓參拾錢

三、和服裁縫速成科第一部　一ケ月　金壹圓五拾錢

四、和服裁縫速成科第二部　一ケ月　金壹圓六拾錢

五、和服裁縫古代物科　一ケ月　金壹圓六拾錢

六、洋服裁縫簡易科　一ケ月　金壹圓六拾錢

七、洋服裁縫研究科　一ケ月　金壹圓六拾錢

八、裁縫教員養成科　一ケ月　金、貳　圓

九、撰　科　一ケ月　各　金　五　拾　錢

編物、刺繍、造花、摘み細工（晝の部）　一ケ月　各　金　壹　圓

造花、摘み細工（夜の部）　一ケ月　金　壹　圓

袋物　一ケ月　甲種　金壹圓五拾錢

割烹　乙種　金　壹　圓

音樂　金　參　拾　錢

但し樂器使用料

十、國文、漢文、數學、教育、教授法、家事、習字、禮式等は授業科を要せず

授業料は自己の休業と本校の休業とを問はず在學中は必ず毎月三日迄に納付すべし

但し授業料一ヶ月以上滯納するものは停學又は學籍を除名することあるべし

入學料は各科共　金壹圓

寄宿舍　本校生徒は下宿屋は勿論管理不完全なる他人の家庭に寄宿を許さざるを以て適當の監督者なきものは特に本校に寄宿を許す

本校寄宿舍へ入らんとするものは左の各項を遵守すべし

一、食費一ヶ月金七圓　舍費金五拾錢を毎月三日迄に納むべし

但し物價の高低により增減することあるべし

特典　本校の教員養成科は文部省裁縫科檢定試驗を受くるを得べし

○東洋實業女學校（私立）

所在　牛込區市ヶ谷藥王寺前町二番地

目的　本校は本邦女子に適切なる學術技藝を教授し兼ねて其德性を發揮するを以て目的とす

學科　本科、教員養成科、別科、及び補修科を置く

修業年限及入學資格　本科の學科は裁縫、修身、國語、家政、禮式、茶の湯、挿花、編物の八科とし修業期限を二ヶ年とし年齢十二年以上にして六ヶ年の尋常小學の課程を終へたるもの若くは之れと同程度以上の學力あるものを入學せしむ

教員養成科は裁縫、國語、教育學及び裁縫教授法の四科とし修業期限を一ヶ年とし高等女學校第三學年の課程を終へ若くは之れと同程度以上の學力あるものにして試驗の上入學せしむ

別科は刺繍、造花、割烹、の一科若くは數科を專修せしむるものにして修業期限は刺繍を二年造花、割烹を各一年とす

但し各科とも學力優等にして成績佳良の見込あるものには其の修業期限に拘らず試驗の上進級又は卒業せしむることあるべし

本科の高等科へ入學するものは年齡十五年以上にして本校普通科修業以上の學力あるものにして試驗の上編入す

學年　學年を一ヶ年とし四月一日に始り翌年三月三十一日を以て終る

一學年を分ちて第一學期（自四月一日至九月三十日）第二學期（自十月一日至三月三十一日）の三種とす

但し別科中割烹科及び造花科は別に之れを定む

教員養成科課程左の如し

學科目	學期	一週時數	普通科	一週時數	高等科	一週時數
裁縫		二六	和服裁方縫方	二六	同上及ヒ汚點拔洗濯色揚等	
修身		一	人倫道德の要旨	一	同	上
國語		二	講讀作文	二	同上文法	
家政		二	衣食住看護	二	育兒家計簿記家事經濟	
禮式		一	普通作法及小笠原八等	一	同上及七等	
茶の湯		二	千家表	一	同	上
挿花		一	古遠州	一	同	上
編物		二	各種の編物	二	同	上
計		三六		三六		

別科中刺繍科の課程左の如し

學科目	學期	一週時數	第一學期（六ヶ月）	一週時數	第二學期（六ヶ月）	一週時數
裁縫		二九	和服諸法	二九	洋服諸法	
國語		一	講讀作文文法	一	同	上
教育		一	普通教育學	二	同	上
教授法		二	裁縫教授法	二	同	上
計		三四		三四		

學科目	學期	一週時數	第一學年	一週時數	第二學年	一週時數
刺繍		三二	實習	三二	同	上
修身		一	人倫道德の要旨	一	同	上
圖畫		二	臨畫寫生圖案	二	同	上

別科中造花科の課程左の如し

學科目＼學期	第一學期（六ケ月）		第二學期（六ケ月）	
	一週時數		一週時數	
造花	三〇	實習	三〇	同 上
修身	一	人倫道德の要旨	一	同 上
圖畫	一	寫生臨書圖案	一	同 上
應用化學	一	染色法	一	同 上
植物	一	植物生理及解剖	一	同 上
計	三四		三四	

別科中割烹科の學期は第一期を四月より七月迄とし第二期を八月より十一月までとし第三期を十二月より三月までとし其課程及教授時間左の如し

學期	第一期（自四月至七月）一週時間	第二期（自八月至十二月）一週時間	第三期（自十二月至三月）一週時間
割烹科	和洋料理法 六	和洋料理法及略式料理法 六	和洋料理法及儀式料理法 六

○補習科

目的　本科高等卒業生又は同相當の學力技藝を有する外來生にして補修を望むものは補修科生徒として勉學せしむ

修業年限　六月とす

入學期　定期入學期は學年の始とす、但し當分の內補缺として臨時入學を許す

寄宿舍　遠國の者にして寄宿を望むものは人員を限りて之を許す

寄宿者は左の各項を心得置くべし

一食費一ケ月金七圓　舍費一ケ月金五十錢

但し物價の高低によりて增減あるべし

學費

一、束修　本科及び教員養成科　金五十錢

別科　各科とも　金壹圓

東京女醫學校

補習科

二、授業料　本　科（普通科　金壹圓
　　（高等科　金壹圓二十錢
　　但し裁縫を專修する者普通科は金八十錢高等科は金壹圓五十錢
　　教員養成科　金壹圓三十錢
　　補　修　科　金　貳　圓
　　別科（刺繍科　金壹圓三十錢
　　（造花科　金壹圓三十錢
　　（割烹科　金壹圓三十錢
　　撰科一科に付き　金五十錢
　　貳科以上每一科　金三十錢
　　但し本科並に教員養成科生徒にして別科兼修するものは科目の多少を論せず通じて一名に付一ヶ月金三十錢を徵收す別科生にして二科以上を兼修するものは一科の授業料の半額とす
　　本科學科の內茶の湯は一ヶ月一人に付金二十錢づゝの實費を徵收す

○東京女醫學校（私立）

所在　牛込區市ヶ谷河田町六番地

目的　本校は東京女醫學校と稱し女子に一般醫學及醫術を敎授し文部省醫術開業試驗に應ずるの資格を養成するを目的とす將來女子醫學專門學校たるの設備を全うし專門學校の認可を受く可き準備中なり

設備　本校は校舍寄宿舍及び病院を東京市牛込區市ヶ谷河田町六番地に設け事務所を麹町區飯田町四丁目三十一番地本校附屬東京至誠病院內に置く

學科　本校の學科を前期學科後期學科の二とす

○前期學科

組織學及實習　解剖學及實習　生理學及實習　化學及實習　物理學及實習　數學

○後期學科

病理總論　內科各論　外科通論　外科各論　診斷學　藥物學　眼科學

產科學　婦人科學　小兒科學　衛生學　細菌學　法醫學　獨逸學

耳鼻咽喉科學　內科臨床講義　外科臨床講義　婦人科臨床講義　眼科臨床講義

卒業年限　四ヶ年とす前期學科修業年限を二ヶ年とし後期學科を二ヶ年とし前期を二學年に後期を二學年に區別す

入學資格　但し新學年の開始は各期共每年五月一日とす

本校に入學せんとするものは年齡十六歲以上三十五歲以下の女子にして四ヶ

年程度の高等女學校を卒業し品行方正にして思想確實なるものは無試驗入學を許し其他のものには試驗の上入學を許す

入學期　入學の期は新學年の始とす入學試驗は毎年四月二十五日より始む試驗科目は高等女學校卒業程度の國語、算術、理科

但し缺員あるときは臨時入學を許す

學費　入學金參圓、授業料は前期壹學年金參拾六圓、後期金四拾貳圓と定め壹學年を三學期に區別し前期壹學年金拾貳圓後期金拾四圓とし之を前納せしむ死體解剖組織實習、外科實習、顯微鏡實習等の費用は別に徵收することある可し

但し事情に因り前期金參圓五拾錢とし毎月前納することを得せしむ受納の入學金及授業料は如何なる事情あるも之を返戻することなし

本校の學生は寄宿生又は通學生をす而して通學生の寄宿は父兄又は保證人其他善良なる家庭に限る

○産婆學校（私立）

所在　神田區猿樂町十二番地水原産科婦人科病院内

目的　本校は專ら産婆學を教授し並に産場に就き實地を研究せしむ

學科　學科を分て解剖學、生理學、産婆學及實地演習の四とす

解剖學及生理學は各其大意にして産婆に必要なる部分のみを授くるものとす

産婆學を細別すること左の如し

姙娠、分娩、産褥の平常經過及其取扱法産婆診察法及び初兒取扱法、姙娠、分娩、産褥の異常經過及其際産婆の爲すべき務、初生兒疾病の大意、産婆の施し得べき療法及び産婆に關せる法律規則

實地演習を分て産科用模型演習及臨床實驗の二とす

修業年限　修學期限を六ケ月とし前後二學期に分つ

前學期中は解剖學、生理學及産婆學を教授す

後學期中は産科模型に就き姙産婦の診察法及産婆に必要なる手術式を演習せしめ兼て本校附屬産室に入れる施療姙産婦に就き産婆の業を實驗せしむ

學期は四月一日及十月一日に始まり三月卅日及九月卅日に終る

入學資格　入學を許すべきものは體格强壯品行方正年齡滿十五歲以上の婦人にして高等小學科を卒り若くは之と同等以上の學力あるものに限る

修業料　金壹圓

束修　一ケ月金壹圓とし

寄宿　寄宿料は一ヶ月食費金五圓五拾錢及び舍費金五拾錢

○東京産婆講習所（私立）

所在　神田區駿河臺袋町十三番地東京産科婦人科病院構内

目的　本校設立の目的は主として純良篤實なる産婆を養成し併せて舊來産婆の改良を企圖するに在り

教授法　本校に於て專ら産婆學及實地を教授す

教授の方法は總て之を口授となし且つ標品圖書を示し生徒をして之を筆記せしむ

學科　學科を分て解剖學。生理學。産婆學及實地演習の四とす

一、解剖學及生理學は各之を其大意に止め主として産婆に必要の部分を授くる者とす則左の如し

人身體總論婦人生殖器及骨盤管各論、血行器、呼吸器、消食器、泌尿器、神經系、筋肉、靭帶機能の大意

一、産婆學は之を細別すること左の如し

正規なる姙娠、分娩及産婦の經過幷に其取扱法産婆診察法及生兒取扱法

異常なる姙娠分娩及産褥の經過幷に其取扱法、初生兒疾病の大意、産婆の施行し得べき療法の大略

一、實地演習を分て産科模型演習及臨床實驗の二とす

産科模型演習とは新式の産科用模型に就て姙娠及産婦の診察法及産婆に必要なる處置手術式等を演習せしむるものとす

臨床實驗とは姙婦を雇入診察せしむ

修學年限　滿一ヶ年とす

但し生徒募集期は毎年三月及九月と定む

學期　學期は毎年四月十月一日に始り翌年三月九月三十日に終る

授業時間は月水金曜日の午後一時に始り三時に終る

但場合に據り時間變更することあるべし

入學資格　入學せんと欲する者は體格强壯、品行方正、高等小學科を卒り若くは之と同等の學力を有し年齡滿十七歲以上の女子に限る

入學せんと欲する者は本人出頭其旨申出べし

入學の際には試問を施し合格の者には入學を許す

寄宿　入學の生徒にして寄宿せんと欲する時は品行方正なる者に限り之を許す

但寄宿生滿員の節は拒絕することあるべし

學費　一、束修金壹圓五拾錢
二、授業料一ヶ月金壹圓
三、寄宿料一ヶ月食費金六圓及塾費金五拾錢

○麹町高等女學校（私立）

所在　麹町區元園町二丁目四番地
目的　本校は高等女學校令同施行細則に基き女子に須要なる高等普通教育を施すを以て目的とす
學科　本校には本科及技藝專修科を置く其學科目は左の如し
一　本科學科目は修身、國語、外國語、（英語）歷史地理、數學、理科、圖畫、家事、裁縫、音樂、體操及教育とす
但外國語は隨意科目となすことを得
一　技藝專修科學科目は修身、國語、數學、體操、家事、教育裁縫編物とす
但數學家事及教育の三科目は隨意科目とす
修業年限　本科五ヶ年技藝專修科二ヶ年とす
學年　學年は毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る
一學年を分ちて三學期とす
第一學期は四月一日より八月三十一日に至る
第二學期は九月一日より十二月三十一日に至る
第三學期は翌年一月一日より三月三十一日に至る
入學期　毎學年の始めに於て之を許可す
但缺員あるときは次の學期の始に臨時入學を許すことあるべし
入學資格　本科第一學年に入學し得べきものは尋常小學を卒業したるもの若くは之れと同等の學力を有するもの第二學年以上に入るべきものは相當學年の程度に於て入學試驗を行ふものとす
技藝專修科に入學し得べきものは尋常小學卒業以上の者たるべし
學費
一、入學料　金壹圓
二、受驗料　金五拾錢
本科授業料
第一、二學年　一學年分金貳拾壹圓

麹町高等女學校

分納するものは毎月金壹圓七拾五錢づゝ納むること
第三、四、五學年　一年分貳拾四圓
分納するものは毎月貳圓づゝ納むること
技藝專修科　一學年分金拾四圓四拾錢
分納するものは毎月金壹圓貳拾錢づゝ納むること
但毎月分納することを得

學科課程左の如し

本科學科課程表

	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
修身	道德ノ要領及作法 二同	上 二同	上 二同	上 二同	上 二
國語	講讀文法及作文習字 六同	上 六同	上 六同	上 五講讀作文 三	
外國語	發音綴字讀方譯解會話書取習字 三同	上 三讀方譯解書取會話作文 三同	上 三讀方譯解書取會話作文 三同	上 三	

歷史	本邦歷史	同	上	
地理	本邦地理	三同	上	三
數學	算術	二同	上	二
理科	植物動物	二		
	動物生理及衛生			二
圖畫	自在畫	一同	上	一
				二
				化學及鑛物 二
			東洋史	三
			外國地理	三
			西洋史	三
			本邦歷史	二
			地文	二
			代數初步	上 二同
			幾何初步	上 二
			幾何畫	
			考案	上 一
			養老、育兒、看護、整理、經濟、家計、簿記、割烹、	四
家事			衣食住	二
裁縫	運針、裁方、縫方、繕方、	四同	裁方、縫方、ミシン用法	四同
音樂	單音唱歌	二	單音唱歌	二
	輪唱歌	二	輪唱歌	二
	複音唱歌	二	福音唱歌	二
			樂器使用	同
體操	普通體操遊戲	三同	上 三同	上 三
教育			教育理論ノ大要	二

技藝專修科

		第一學年	第二學年	第三學年
修身	道德ノ要領及作法	二	同上	同上
國語	講讀、作文、習字、	五	同上	同上
數學	筆算、整數、小數、比例、分數	二	二百分算	二百分算
家事				
裁縫並編物	縫方、裁方、繕方	一七	同上及ミシン用法	同上及洋服
教育				
體操	普通體操、遊戲	二	同上	同上
計		二八	二八	二八

		第一學年	第二學年	第三學年
修身	道德ノ要領及作法	二	同上	同上
國語	講讀、作文、習字、	五	同上	同上
數學	筆算、整數、小數、比例、分數	二	二百分算	二百分算
家事				
裁縫並編物	縫方、裁方、繕方	一七	同上及ミシン用法	同上及洋服
教育				
體操	普通體操、遊戲	二	同上	同上
計		二八	二八	二八

		第一學年	第二學年	第三學年
修身	道德ノ要領及作法	二	同上	同上
國語	講讀、作文、習字、	五	同上	同上
數學	筆算、整數、小數、比例、分數	二	二百分算	二百分算
家事				
裁縫並編物	縫方、裁方、繕方	一七	同上及ミシン用法	同上及洋服
教育				
體操	普通體操、遊戲	二	同上	同上
計		二八	二八	二八

		第一學年	第二學年	第三學年
修身	道德ノ要領及作法	二	同上	同上
國語	講讀、作文、習字、	五	同上	同上
數學	筆算、整數、小數、比例、分數	二	二百分算	二百分算
家事				
裁縫並編物	縫方、裁方、繕方	一七	同上及ミシン用法	同上及洋服
教育				
體操	普通體操、遊戲	二	同上	同上
計		二八	二八	二八

		第一學年	第二學年	第三學年
修身	道德ノ要領及作法	二	同上	同上
國語	講讀、作文、習字、	五	同上	同上
數學	筆算、整數、小數、比例、分數	二	二百分算	二百分算
家事				
裁縫並編物	縫方、裁方、繕方	一七	同上及ミシン用法	同上及洋服
教育				
體操	普通體操、遊戲	二	同上	同上
計		二八	二八	二八

		第一學年	第二學年	第三學年
修身	道德ノ要領及作法	二	同上	同上
國語	講讀、作文、習字、	五	同上	同上
數學	筆算、整數、小數、比例、分數	二	二百分算	二百分算
家事				
裁縫並編物	縫方、裁方、繕方	一七	同上及ミシン用法	同上及洋服
教育				
體操	普通體操、遊戲	二	同上	同上
計		二八	二八	二八

		第一學年	第二學年	第三學年
修身	道德ノ要領及作法	二	同上	同上
國語	講讀、作文、習字、	五	同上	同上
數學	筆算、整數、小數、比例、分數	二	二百分算	二百分算
家事				
裁縫並編物	縫方、裁方、繕方	一七	同上及ミシン用法	同上及洋服
教育				
體操	普通體操、遊戲	二	同上	同上
計		二八	二八	二八

		第一學年	第二學年	第三學年
修身	道德ノ要領及作法	二	同上	同上
國語	講讀、作文、習字、	五	同上	同上
數學	筆算、整數、小數、比例、分數	二	二百分算	二百分算
家事	衣食住	二	育兒、養老、看護、整理、經濟、會計、簿記、割烹	二
裁縫並編物	縫方、裁方、繕方	一七	同上及ミシン用法	同上及洋服
教育	教育理論ノ大要	二		
體操	普通體操、遊戲	二	同上	同上
計		二八	二八	二八

數學家事及教育の三科目は隨意科科目とす

○東京實用女學校（私立）

所在、麹町區飯田町四丁目三番地

目的、本校は實用の智識技能を得しめ品性を陶冶し時勢に適應する女子の完成を期す

學年、學年の始期を四月一日とし其終期を三月卅一日とす

一學年を三學期に分つこと左の如し

一、自四月一日　至八月卅一日第一學期
二、自九月一日　至十二月卅一日第二學期
三、自一月一日　至三月卅一日第三學期

分科及其修業年限

一、本科	三ヶ年	
二、補習科	一ヶ年	
三、裁縫科	二ヶ年	
四、手藝科	半ヶ年	

東京實用女學校

入學資格　本科入學者は尋常小學校を卒業したるもの又は年齢十二歳以上にして同等以上の學力を有するもの
補習科入學者は本科卒業のもの又之と同等以上の學力を有する年齢十六歳以上のもの
裁縫科、手藝科、入學者は年齢十二歳以上のもの
入學期　入學は學年の始めに限る
學期の始めに臨時入學を許すことあるべし

○雙葉高等女學校（私立）文部省認定

所在　麹町町下六番町四十五番地
本校教育主旨
本校の目的は女子に必須なる高等普通の學科を授け專ら德性の涵養につとめ日本帝國の婦人として愧しからざるの淑女を成するにあり
本校の特色は十數名の内外國教師の監督の許にあるのみならず外國教師の如きは校内に居住するを以て語學教授の如き普に授業時數多きのみならず日用接觸の際不知不識の間に普通會話に熟達するの便あり
目的　本校は女子に必須なる高等普通教育を授くるを以て目的とす
學科　本校學科目は修身、國語、外國語、地理、歷史、數學、理學、圖畫、家事、裁縫、音樂、體操とす
修業年限　四ヶ年とす　但し外國語は志望により英佛語の中の一課を撰ばしむ
本校は更に語學專攻科を設け其修業年限を二ヶ年とす
學年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る
學年を別ちて三學期とす
第一學期は四月一日より八月三十一日に至る
第二學期は九月一日より十二月三十一日に至る
第三學期は一月一日より三月三十一日に至る
各學年に於ける各課目の程度及び每週教授時數は別表の如し

課目＼學年	授業時數	一學年	授業時數	二學年	授業時數	三學年	授業時數	四學年
修身	二	要旨	二	同	二	同	二	同
國語	六	講讀作文習字	六	同	五	講讀作文習字	五	同
外國語	五	講讀會話書取習字	五	同	五	同	五	同

語學專攻科課程表

學年 / 課目	授業時數 一學年
修身	二 實踐倫理
教育	一 教育學
國語	三 講讀作文 作歌習字
外國語	一二 講讀會話 修辭學文法作文
音樂	一 複音唱歌 樂器使用法
裁縫	四 日本裁縫 西洋裁縫
圖畫	一 日本畫 水彩畫圖案
體操	一 普通體操 遊戲
割烹	三 和洋料理
計	二八

學年 / 課目	授業時數 二學年
修身	一 同上
教育	一 同上
國語	三 同上
外國語	一四 同上
音樂	一 同上
裁縫	四 同上
圖畫	一 同上
體操	一 同上
割烹	三 同上
計	二九

學年 / 課目	授業時數 一學年
地理	三 本邦地理
歷史	二 本邦歷史
數學	二 四則諸等數 分數比例
理科	二 植物 動物
圖畫	一 鉛筆畫 日本畫
音樂	二 單音唱歌
家事	
裁縫	四 通常衣服 縫方裁方
體操	三 普通體操 遊戲
計	三〇

學年 / 課目	授業時數 二學年
地理	三 外國地理
歷史	二 同上
數學	二 同上
理科	二 動物生理衛生
圖畫	一 同上
音樂	二 同上
家事	二 衣食住
裁縫	四 同上
體操	三 同上
計	三〇

學年 / 課目	授業時數 三學年
地理	三 同上
歷史	三 東洋史
數學	二 開方
理科	二 鑛物化學
圖畫	一 同上
音樂	二 單音唱歌 複音唱歌
家事	二 家計簿記 看護育兒
裁縫	四 同上ミシン使用法
體操	三 同上
計	三〇

學年 / 課目	授業時數 四學年
地理	三 地文
歷史	三 西洋史
數學	二 合算 幾何初歩
理科	二 物理
圖畫	一 同上
音樂	二 同上
家事	二 家計簿記 看護育兒
裁縫	四 同上
體操	三 同上
計	三〇

但し修身教育外國語體操を除き一科目又は數科目を隨意となすを得

入學資格　本校に入學せんとするものは年齢十二年以上にして尋常小學校の課程を修了したるもの若くは之と同等の學力あるものたるべし

語學專攻科に入るべきものは本校卒業生及これと同等の學力あるものたるべし但し外國語は特に試驗の上之を定め猶學力不足なるものゝために豫科を設く

入學期　每年四月及九月とす但し缺員あるときは臨時入學を許すことを得

學費　授業料及束修は左の如し

授業料	高等女學校及語學專攻科	每月	金貳圓五拾錢
	外國語豫科	每學期	金八圓
束修			金五拾錢

一年間の教室費として金五拾錢初學期に納付せらるべし

但し入學試驗を受けざるものゝために寄宿舍を置く

割烹は其都度實費を徴收す

寄宿舍　生徒の自宅より通學し能はざるものゝために寄宿舍を置く

舍費　壹圓　食費　六圓五拾錢

◎東洋高等女學校（私立）

目的　本校は高等女學校令により女子の常識を養成するに必須なる高等普通教育を授くるを以て目的とす

所在　東京市小石川區九山町十二番地

學科目　修身、作法、國語、外國語（英語）歷史、地理、數學、理科、家事、裁縫、習字、圖畫、音樂、體操、教育とす

修業年限　五ヶ年とす

學年は每年四月一日に始り翌年三月卅一日に終る、學年は更に之を左の三學期に分つ

第一學期　四月一日より八月卅一日に至る

第二學期　九月一日より十二月卅一日に至る

第三學期　翌年一月日より三月卅一日に至る

學科課程左の如し

		第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
修身	女德ノ要旨作法	二	同上	二	同上	二
國語	講讀	五	同上	二	同上	二
	作文	五	同上	四	同上	四
	講讀作文	五	同上	四	同上	四

外國語	讀方、譯解、書取、會話、習字、	同上	三
歷史	日本歷史	同上	二
地理	日本地理	同上	一
數學	算術	同上	二
理科	動物 植物	生理衛生	二
家事			
裁縫	裁方 縫方 繕方	同上	四
習字	楷書	行書	一
圖畫	自在畫	同上	一
音樂	單音唱歌	同上	二
體操	普通體操 遊戲	同上	三
教育			
計		二八	

外國語	文法作文	同上	三
歷史	東洋史	西洋史	一
地理	外國地理	地文	一
數學	代數初步	幾何初步	二
理科	鑛物 化學	物理	二
家事	衣食住	看護、育兒、家計簿記、經濟、割烹	四
裁縫	同上	ミシン用法	四
習字	同上	同上	一
圖畫	同上	同上	一
音樂	同上	同上	二
體操	同上	同上	三
教育			
計	二八	二九	

外國語	同上	同上	三
歷史	同上	同	上
地理	同上	外國地理	二
數學	同上	代數初步	二
理科	動物 植物	生理衛生	二
家事			
裁縫	裁方 縫方 繕方	同上	四
習字	楷書	行書	一
圖畫	自在畫	同上	一
音樂	單音唱歌 輪唱歌 複音唱歌	同上	二
體操	普通體操 遊戲	同上	三
教育		心理及教育ノ大要	一
計	二八	二九	

入學期　定期入學は毎學年の始め一回とす
但し缺員あるときは第二學期、第三學期の初に於て入學を許すことあるべし

入學資格

一、尋常小學校全科卒業（舊制高等小學校第二年修了）者にして滿十二年以上の者は當該學校長の證明書を入學願書に添へて出願する時、第一學年級に（無試驗）入學を許可す
但し入學志望者の數募集人員に超過する時は選拔試驗を行ふことあるべし
二、尋常小學全科卒業と同等の學力を有する者は試驗の上第一學年級に入學を許す
三、第二學年級以上の入學は相當年齡に達せる者にして試驗の上之を許可す

但し試験は前各學年の程度に於て、其各科目に就き之を行ふ

四、他の高等女學校よりの轉學は缺員ありたる時に限り無試験にて之を許すも受験料金五拾錢（但し無試験入學者は之を納むるに及ばず）

一、入學料金壹圓五拾錢（但し在學證書に添へて納むべし）

一、授業一學年間金貳拾貳圓（毎月貳圓）校費一學年間金貳圓廿錢（毎年貳拾錢）

○戸板裁縫學校（私立）

所在　芝區三田四國町二番地

目的　本校は一般婦女子に裁縫術を教授し併て裁縫專攻科教員たらんと欲するものに教授法を知得せしむるを目的とす

修業年限　七ヶ月とし之を前期三ヶ月後期四ヶ月とす

學科は甲乙の二部に分ち甲部は毎年一月に始め七月に終り及七月に始め一月に終る乙部は毎年四月に始め十月に終り及十月に始め四月に終る

學科　本校は別に練習科を置き卒業後練習を希望する者を在學せしむ

本校は生徒の希望により左の學科を教授す禮式、茶の湯、挿花、國語、習字、英學、數學、家政學、洋服裁縫、編物、刺繍、造花、割烹

學科課目左の如し

學科課程表（前期は主として木綿物後期は絹物を教授す）

前期		後期	
總論、運針、尺度數、縫合物、衣服名稱		男女單物仕立	洗濯及補綴
本裁男女單物裁縫		單物羽織仕立	子供衣服及胞着裁縫
單物羽織裁縫		男女袷羽織仕立	飾刺
棲上ケ方、本裁男女		ズボン下、シャツ裁縫	綿入羽織子供物及本裁々縫
男女綿入裁縫		改良前掛、腹掛裁縫	男女帶縫方
本裁男女袷羽織裁縫		本裁中裁小裁被布裁縫	小裁中裁十番袴裁方積方
		男女合羽裁縫	女袴大小中裁縫
			十番裏付袴裁縫
			結ビ物
			飾縫
			夜具類裁縫
			小物類、巾着、頭巾、信玄袋、涎掛類
			股引半股引脚袢足袋裁縫

戸板裁縫學校

期	
入學資格	男女衣服重物裁縫 男女帶仕立 片面三ツ身裁並幅中幅大幅羽織被布
入學資格	年齢十五歳以上の女子にして高等小學卒業又はこれと同等以上の素養ある者認定の上入學を許す
學費	一束修料金壹圓　授業料一ヶ月　金壹圓五拾錢
寄宿舍の設備あり	寄宿料　金七　圓

○聖心女子學院（私立）

第一小學校

所在　芝區白金三光町四百二十五番地

目的　本校は小學校令に依り女兒身體の發育に留意し德性の陶冶及び國民教育並に其生活に必須なる普通の智識技能を授くるを以て目的とす

本校の修業年限は六ヶ年とす

一學年を三學期に分ち第一學期は四月一日より八月三十一日に至り第二學期は九月一日より十二月三十一日に至り第三學期は一月一日より三月三十一日に至る

入學料及び授業料は左の如し

入學料　金五圓

授業料　一ヶ月　金四圓

授業料は毎月五日までに之を納むべし

第二高等女學校

目的　本校は高等女學校令に依り女子に適切須要なる高等普通教育を施すを以て目的とす

修業年限　修業年限を五ヶ年と定む

學年　學年は四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る

一學年を分けて三學期となし第一學期は四月一日より八月三十一日まで第二學期は九月一日より十二月三十一日まで第三學期は一月一日より三月三十一日までとす

學科目　本校の學科目は修身、國語、外國語、（英語或は佛語）歷史、地理、數學、理科、圖畫、家事、裁縫、音樂、體操とす

入學期　入學は每學年の初めに於て之を許す

但し缺員あるときは各學期の初めに入學を許すことあるべし

入學資格　入學者は家系正しき者にして左の項目に該當するを要す

第一學年に入學を志願する者は年齢十二歳以上にして尋常小學を卒へたる者又はこれと同等の學力を有する者たるべし

尋常科卒業の者は他に先ちて入學することを得

第二學年以上に入學を志願するものは相當の年齢に達し前學年を卒りたる者と同等の學力を有する者とす

入學試驗　入學志願者の數募集人員に超過するときは試驗に依り入學者を選拔すべし

第一學年の選拔試驗は國語算術に就き尋常小學卒業の程度に依りこれを行ふ

尋常科を卒業せざる者には國語、算術、地理、日本歷史及理科に就き尋常小學卒業の程度に依り試驗を行ふ

學費　入學者は入學料として金五圓を納むべし

授業料一箇月金四圓五拾錢文庫費同金五拾錢と定む

授業料及び其他の料金は每學期の初めに之れを前納すべし

但し八月分は徵收せず

納附しむる各料金は何等の理由あるも還付せざるものとす

授業料並に文庫費

第一學期　金貳拾圓　（四月より七月まで）

第二學期　金貳拾圓　（九月より十二月まで）

第三學期　金拾五圓　（一月より三月まで）

但し望により一ヶ月づゝ納むることを得

寄宿舍　寄宿舍に入舍を志望する者は入舍料金十圓を添へ父兄より願ずべし

寄宿料半寄宿料及び寄宿舍費は左の如し

寄宿料	日本食を要する者	一ヶ月	金拾貳圓
	洋食を要する者	一ヶ月	金貳拾五圓
半寄宿料	日本食	一ヶ月	金六圓
	洋食	一ヶ月	金拾貳圓
寄宿舍費		一ヶ月	金四圓

小學校學科課程及ビ教授時數

學年＼學科	每週時間數
第一學年	同上
第二學年	同上
第三學年	同上
第四學年	同上
第五學年	同上
第六學年	

修身	國語	算術	歷史
二 道德ノ要旨	一〇 發音ハ假名及ビ近易ナル普通文ノ讀ミ方、書キ方、綴リ方、話シ方	五 二十以下ニ於ケル數ノ範圍内ニ於ケル數ヘ方、書キ方及ビ加減乘除	
二 同 上	三 假名ハ日常須知ノ文字及ビ近易ナル普通文ノ讀ミ方、書キ方、綴リ方、話シ方	六 百以下ニ於ケル數ノ範圍内ニ於ケル數ヘ方、書キ方及ビ加減乘除	
二 同 上	四 日常須知ノ文字及ビ近易ナル普通文ノ讀ミ方、書キ方、綴リ方、話シ方	六 普通ノ加減乘除	
二 同 上	四 同 上	六 普通ノ加減乘除及ビ小數ノ呼ビ方、書キ方及珠算加減乘除	
二 同 上	四 同 上	四 整數小數等數珠算加減	三 日本歷史大要
二 同 上	四 同 上	四 分數珠算加減乘除	三 前學年ノ續キ 前學年ノ續キ韓國

地理	理科	圖畫	唱歌	體操
		一 單形簡易ナル形體	四 平易ナル單音唱歌	遊戲
		一 同 上	四 同 上	遊戲普通體操
		一 同 上	一 同 上	三 同 上
		一 簡易ナル形體	一 同 上	三 同 上
日本地理大要	二 動植鑛物自然現象ノ通常ノ理化學ノ現象及上ノ物理物象	一 同 上	二 同 上	三 普通體操遊戲
滿洲其他外國地理大要	二 動植鑛物自然現象ノ通常ノ理化學ノ現象及上ノ物理物象	一 同 上	二 同 上	三 同 上

高等女學校學科課程及ビ教授時數

學科＼學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
修身	道德ノ要領 二	同	同	同	同
國語	講讀、文法、作文、習字 六	同	同	同	同
外國語（英語或ハ佛語）	發音、綴字、讀方、譯解、書取、會話、習字 五	同	同	同	同
歷史地理	日本歷史 三	日本歷史地理 三	外國歷史地理 三	東洋歷史 三	西洋歷史 二
				外國地理	歷史地理補習 二
數學	算術 二	同	同	代數初步 二	幾何初步 二
理科	植物 二	動物生理及衛生 二	化學及鑛物 二	物理 二	
圖畫	自在畫 一	自在畫 一	自在畫 一	自在畫 一	同 上
裁縫	運針法 通常ノ衣類ノ縫ヒ方 二	通常ノ衣類ノ縫ヒ方 二	同 上	通常ノ衣類ノ縫ヒ方 裁チ縫ヒ方 三	同 上
家事				衣食住 二	衣食住 二
計	三	三	三	三	三
裁縫	三	三	三	三	三

學科＼學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
修身	道德ノ要領 二	同	同	同	同
國語	講讀、文法、作文、習字 六	同	同	同	同
外國語（英語或ハ佛語）	發音、綴字、讀方、譯解、書取、會話、習字 五	同	同	同	同
歷史地理	日本歷史 三	日本歷史地理 三	外國歷史地理 三	東洋歷史 三	西洋歷史 二
				外國地理	歷史地理補習 二
數學	算術 二	同	同	代數初步 二	幾何初步 二
理科	植物 二	動物生理及衛生 二	化學及鑛物 二	物理 二	
圖畫	自在畫 一	自在畫 一	自在畫 一	自在畫 一	同 上
裁縫	運針法 通常ノ衣類ノ縫ヒ方 二	通常ノ衣類ノ縫ヒ方 二	同 上	通常ノ衣類ノ縫ヒ方 裁チ縫ヒ方 三	同 上
家事				衣食住 二	衣食住 二
計	三	三	三	三	三
裁縫	三	三	三	三	三
音樂	單音唱歌 二	單音唱歌 二	單音唱歌 二	同 上	同 上
體操	普通體操遊戲 三	同	同	同	同

聖高女子學院

計 三〇

男女 東京遊學案内 終

三〇 三〇 三〇 三〇

七百四

明治四四年四月二十五日 印刷
明治四四年四月二十八日 發行

不許複製

發行者 東京市神田區猿樂町廿四番地 辻本末吉

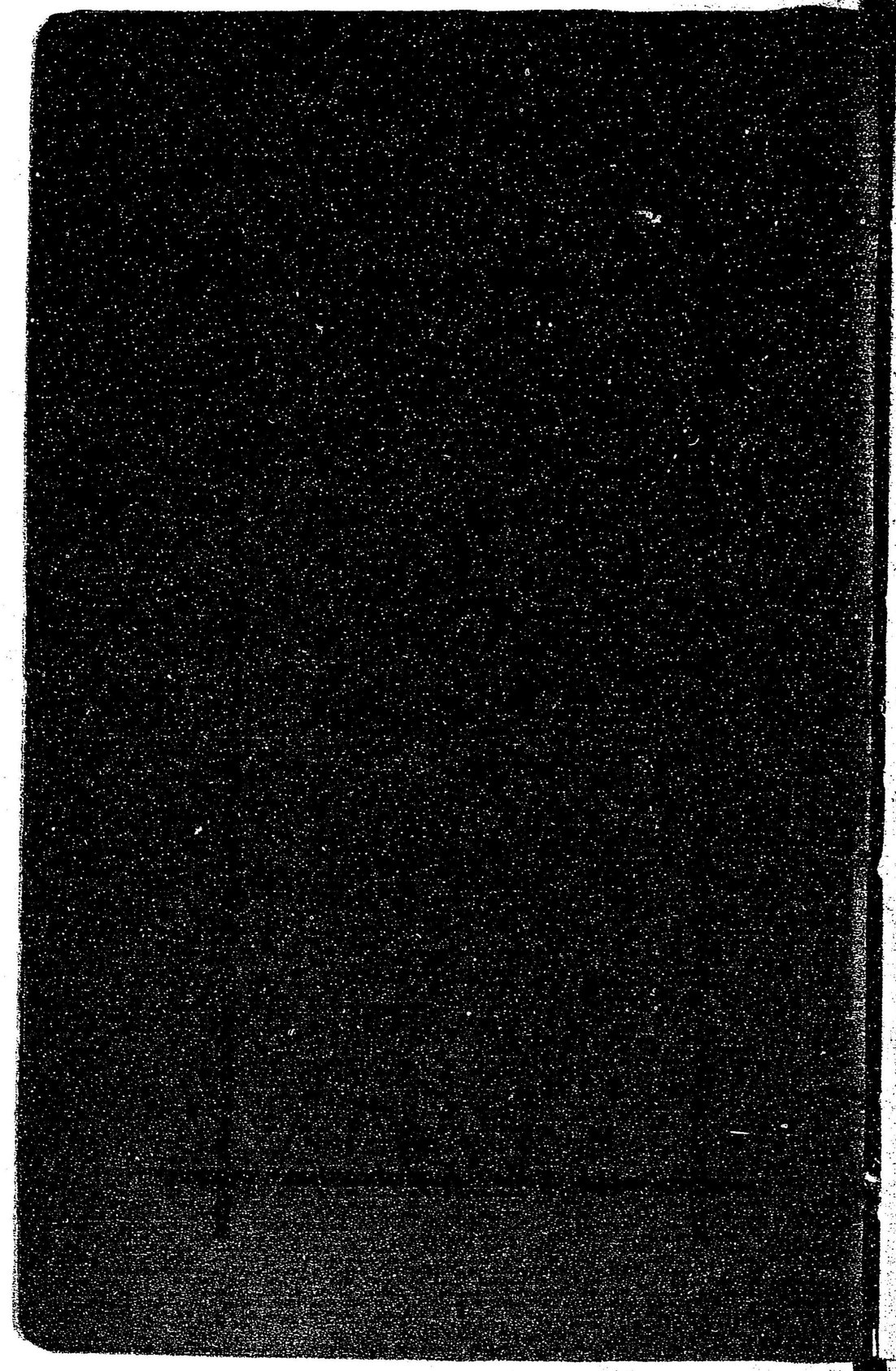
發兌元 東京市神田區猿樂町廿四番地 修學堂書店 電話本局一七五三番 振替貯金三二八番

印刷者 東京市本郷區湯島二丁目二番地 井上隆治

印刷所 東京市本郷區湯島二丁目二番地 合資會社葆光社

最新調査 男女東京遊學案内

正價金五拾錢 郵稅金八錢



▲ほしがき▼

夫れ出版の事たる社會事業中最も重要の地位を占むるものにして此れが盛衰は文化の隆替に關し文化の隆替は國運の消長に影響を及ぼすものなり今や我が國出版社會の趨勢を通覽するに著書の出つる實に汗牛充棟も啻ならざるなり、豈に喜ぶべき現象にあらずや、然りと雖も世往々にして其社會に對する貫獻事業たるを打ち忘れ營利此れ事なり！著者其の宜を選ます徒に奇巧なる名目の下に發行して私利を逞しくするものあるは社會一般の認むる所にして國家の爲め憫しむべき所なり、弊堂の初めて足を出版社會に投するや

其の事業の社會的にして敢て營利にのみ走るへきものにあらざるを自覺したび書を發行せんとするや、必ず先つ著者の學識經驗品性等を探知し常に愼**重の態度**を以てせり、聊か又社會に對して誇稱するに足らむか、**左に列擧する書籍**の如きは前段述ぶる所の趣旨に基き**著者の選擇**に留意し**校正**を嚴密に**印刷**其の他體裁に注意なれば出版以來非常の好評を博し何れも幾度の版を重ぬるに至れり、大方の諸賢弊堂の微意を諒とし續々採用の榮を垂れ給はらむことを

修學堂主謹告

最新問答全書

□日本史　□東洋史　□西洋史　□算術　□代數　□幾何　□生理衛生　□地文　□博物　□鑛物

□日本地理　□外國地理　□動物　□植物　□物理　□化學　□英文典　□漢文　□國語　□以上既刊

新刊

島村東洋編

附 最近八年間諸官立學校入學試驗問題

●正價金貳拾錢　●郵税各金四錢

從來受驗問答ノ類出スル汗牛充棟ヲ啻ナラズト雖多クハ疎漏杜撰其名アツテ實コレニ伴ハズ受驗者ノ均シク遺憾トスル所ナリシガ著者是ニ見ル所アリ其受驗問答ニ於テ親切懇篤大ニ從來類似諸書ノ欠陷ヲ充タスト同時ニ著者先ヅ受驗者ノ困苦ヲ思ヒテ多年經營ノ結果各科受驗問答集毎ニ最近八年ニ渉ル官立諸學校試驗問題ヲ蒐集シテ學生諸君ノ便宜ヲ計ルノミナラズ加フルニ某々大家ノ苦心經驗ノ餘ニ成レル受驗成功ノ秘訣ト剴切ナル受驗方法ニ就キテノ書ヲ附スルヲ以テ一度本書ヲ手ニシ給ハヾ未ダ癒セザリシ痒處ヲ治スルニ麻ヲ以テスルノ快アラン願ハクハ座右ニ備ヘテ速ニ名譽ノ月桂冠ヲ獲ルノ道ヲ講ジ給ヘ

工學便覽叢書

村田篤由著

工學便覽叢書第一編 蒸汽機關便覽

●正價壹圓五拾錢●郵税八錢

陸用船用の別なく蒸汽機關に關する緊要なる事項を網羅し、所求に從ひて、物を嚢中に探るが如く、直に之れを捕捉し得るものは、本書の特色なり。復雜なる計算の如きも、之れが結果は、表として登載したれば、便益蓋し少なからざるべし。

米國理學士　佐伯順太郎閲

工學便覽叢書第二編 機械設計便覽

●正價壹圓五拾錢●郵税八錢

機械は、其の設計の煩雜にして、幾多の高等數學を要し、運算の結果始めて之れを知るべし。蓋し、煩雜なる業務に從事せらるゝ諸士にして、其の都度、之を施すが如きは大に時間を空費するの恐あるべし、編者多年斯業に從事し、自から苦心せる結果本書となれるものにして、一讀之れを解するを得べし。近來稀に見るの好著なり

工學便覽叢書第三編 土木設計便覽

●正價壹圓五拾錢●郵税八錢

世に類書なきにあらざるに、今又本書の出づる所以のものは、成るべく新規なる材料を供給し、斯業に從事せらるゝ諸士の便益に資せんことを期して、公にせられんとす。其の材料の豐富にして、圖説の多き、如何に便益を與ふべからん。

工學便覽叢書第四編 建築設計便覽

●正價壹圓五拾錢●郵税八錢

是亦土木設計便覽と其の轍を同じくして出づるものなり日進月歩の今日、晉來の珍とするものも、或ひは顧みられざるものあり。編者廣く諸書を參考し、歐米大家の規定とせられたる多數の事項を抄譯類聚したれば、土木設計便覽と相待て、白眉たるを信ぜんとす。

工學便覽叢書第五編 電氣工學便覽

●正價壹圓五拾錢●郵税八錢

近來電氣應用の術、其の範圍擴大し、諸方面に採用せられて、其の結果の甚だ良好なるもの多きが如し。斯業は、近年長足の進歩をなしたるものにして、概覽に資すべきの書、蓋し鮮少なり。電氣工業に從事せらるゝ諸士の座右の顧問たらんことを期して、本書の出づるに至れり。

工學便覽叢書第六編

鑛物鑑定便覽

●正價壹圓五拾錢●郵稅八錢

一塊の鑛物を採掘して、是が果して有利なる鑛石か、無價値なる土塊なるかを判別し、鑛物探尋、所在等の如き究めんことを目的として本書は出でんとするに至れり。殊に三百有餘の圖解を加へたれば、一見能く直ちに其の鑛石の如何なるものなるかを知得することを言辭を辭書に探ることと異ならざるものは、夫れ本書の價値と云ふべし。

工學便覽叢書第七編

分析便覽

●正價壹圓五拾錢●郵稅八錢

分析上に關する緊要なる事項を摘錄して、簡潔したるものは本書なり。試藥の調合、取扱手續、分量、方法等尚ほ其分析上の便益に資せんことを勉めたり故に定性、定量ともに二目瞭然として能く其の眞髓を得たるものは、蓋し本書の外、未だ之あらざるべし。敢て斯業家の座右に薦む。

工學便覽叢書第八編

工業材料便覽

●正價壹圓五拾錢●郵稅八錢

工場さいへば其の範圍頗る廣く、且つ其の類少なからずと雖も、是等に使用する材料は、蓋し多數なるべし。今一々其の類を擧ぐるに遑あらず、然るに廣く是等の材料を擧めて以て便益に供するは、本書の目的なり。其の種類如何に拘はらず、一見立ごころに用を辨ずるは、本書以外、蓋し之れあらざらん。

工學便覽叢書第九編

製圖用便覽

●正價壹圓五拾錢●郵稅八錢

工學便覽叢書第十編

測量用便覽

●正價壹圓五拾錢●郵稅八錢

商船學校教授本多千代雄序　高橋武雄著

船舶運轉士受驗問答

●正價壹圓●郵稅八錢

商船の運用上受驗者の參考に資せんことを期して成れるものは、本書なり。著者多年の實驗と學理とに依り最も明細に其の要點を說示したる本書は、太平洋上に航行せる船舶が唯一個の羅針盤に依りて彼岸に達するときの指針たらんことに力めたり。

海軍機關少將山本直德序　吉本榮五郎著

船舶機關士受驗案內

●正價壹圓●郵稅八錢

船用機關に關し、其の構造、取扱法等のごとき、苟も機關に從事せらるゝ諸士の知得せざるべからざる最緊要事項を網羅し、最も平易通俗の文體を以て、既示したるものは本書なり、當に受驗者の參考書に供するのみならず平生機關取扱に從事せらるゝ諸士の好參考資料たり

高橋武雄著（ポケット用美本）

普通海員會話

●正價壹圓●郵稅四錢

海員に用ひたる特殊の會話あるにあらざるに特に、本書の題號を蒙らしめたるものは、海員用として比較的多くの材料を蒐めたればなり。最も卑近の談話より始めたれば未だ英語の素養なき人と雖も、能く之れを讀了することを得べし。

通俗詳解

周易活斷　全一冊

●大判洋裝千頁●正價參圓●小包料拾貳錢

橫濱　高島嘉右衛門
東京　柳田幾作　先生合著

文學博士　南條文雄　林幸行著

國語辭典　全一冊

●洋裝美本千三百頁●正價八拾錢●郵稅八錢

上野清著

致學 四書通解 全一冊

算術、代數、幾何、三角 合本
新形八百頁 價八拾錢 小包八錢

山澤平太郎著

英和通辯活用無盡藏 全一冊

●正價貳拾錢 郵稅四錢

帝國大學教授法學博士和田垣謙三校閱
英語教授改良會主任 島村東洋著

英語學大成 全一冊

●洋裝二千頁●正價參圓●小包拾貳錢

東京英語學會各講師編纂
マスターピース 國民英學會講師 高野鐵太郎主任

英語學自習全書 全十六冊

●正價一冊金貳拾五錢宛●郵稅每冊金四錢宛

△本書各篇目次 六

第一編 和英對譯實用作文法 全
第二編 英和對譯尺牘軌範 全
第三編 國民必携實用會話篇 全
第四編 新式英文法軌範正 全
第五編 新式英文法軌範續 全
第六編 實用單語篇 全
第七編 和文英譯秘訣 全
第八編 新編英和熟語詳解 全
第九編 受驗必携英和雜句詳解 全
第十編 英文和譯秘訣 全
第十一編 英文傑作詳論 全
第十二編 英語類詞詳解 全
第十三編 前置詞活用法 全
第十四編 英和對譯時事文例 全
第十五編 英和俗語詳解 全
第十六編 英和對譯美文麗句集 全

文學士山岸辰藏著

國文故事熟語正解 全一冊

●正價四拾五錢●郵稅六錢

東京中學校英語講師三宅伊九郎先生著

- ◉英語發音法例解 全
- ◉英語熟語例解 全
- ◉英語難句難語例解 全
- ◉和文英譯例解 全
- ◉英文和譯例解 全
- ◉英語前置詞例解 全
- ◉英語文法例解 全
- ◉英文作文例解 全
- ◉英語異同辨例解 全

●袖珍美本每冊●正價各貳拾五錢宛●郵稅各四錢宛

佐藤喜久松著

最新實用英和會話 寸珍 全一冊

●紙數百七十頁●正價貳拾錢●郵稅四錢

余仁吉先生校訂 同文學會講師鈴木雲峰編

日清會話獨修 新形 全一冊

●紙數三百頁●正價貳拾五錢●郵稅四錢

博言博士 イーストレーキ著

改訂增補第參拾版 英和實用 會話獨修 全一冊

●三百五十頁●正價參拾五錢●郵稅四錢
●特製金文字入正價五拾錢●郵稅六錢

法學士秋野沆著

刑法刑事 訴訟法註釋大全 全一冊

●正價金六拾五錢●小包金拾錢

法典研究會編纂主任 法學士 秋野沆

文官普通及裁判所書記 試驗問題解答 全一冊

●正價金八拾五錢●郵稅金八錢

官立諸學校 **入學試驗問題** 合卷

卅一、卅二、卅三、卅四、卅五、卅六、卅七、卅八、卅九、四十年度以下每年度發行ス正價各冊拾五錢宛郵稅四錢宛

帝國大學教授 法學博士 和田垣謙三著

會話作文 **和英新辭典** 全

●正價八拾錢●郵稅八錢

英文の泰斗として其名隱れなき和田垣博士が多年の經驗に基き諸氏が會話作文の料に資せんが爲めに多大の苦心を以て編せられたるものにして一度本書を手にしたまはば會話に作文に金玉の名文直ちに成り千言萬語口を衝いて出で來らん此書を諸氏の座右に推薦するに當りて博士が心血をそゝぎて多年磨けるの白玉の彼の累々たる辭典事類の中にあり如何に燦々たる光を放つかを見たまへ

官立諸學校 **入學試驗問題答案**

卅六、卅七、卅八、卅九、四十年度以下每年度發行

●正價各六拾錢宛●郵稅六錢宛

改正 **日本六法全書** 全一冊

●總クロース金文字入美本●正價五拾錢●郵稅六錢

小林學堂編纂

現行類集 **法規全書** 全一冊

●洋裝千三百頁●正價六拾錢●小包八錢

北川、三友兩先生編 拾七大家口述

大中學校師範學校高等女學校增補 **教員受驗撮要** 合卷 全一冊

●紙數千四百餘頁製本優美●正價金壹圓五拾錢●小包料金八錢

官立諸學校 **入學試驗問題** 合卷

卅一、卅二、卅三、卅四、卅五、卅六、卅七、卅八、卅九、四十年度以下每年度發行ス正價各冊拾五錢宛郵稅四錢宛

帝國大學教授 法學博士 和田垣謙三著

會話作文 **和英新辭典** 全

●正價八拾錢●郵稅八錢

英文の泰斗として其名隱れなき和田垣博士が多年の經驗に基き諸氏が會話作文の料に資せんが爲めに多大の苦心を以て編せられたるものにして一度本書を手にしたまはば會話に作文に金玉の名文直ちに成り千言萬語口を衝いて出で來らん此書を諸氏の座右に推薦するに當りて博士が心血をそゝぎて多年磨けるの白玉の彼の累々たる辭典事類の中にあり如何に燦々たる光を放つかを見たまへ

齋藤剛毅先生著

民法戶籍法問答講義 全二冊

●正價金六拾錢●郵稅金六錢

橫濱稅關統計調查事務囑託 橫濱商業學校囑託講師 東京保稅庫株式會社主事 岩井元太郎編

關稅法規類纂

●正價金壹圓五拾錢●小包金八錢

前內務次官 法學士 鈴木充美先生校閱

法學士 清水鐵太郎先生著

法律顧問 全一冊

●紙數一千二百頁●正價八拾五錢●小包八錢●特製金文字入●正價壹圓拾錢●小包八錢

法學士 林儀一郎著

改正 **日本六法註釋** 全一冊

●洋裝八百頁●正價壹圓八拾錢●小包料八錢

上野清著

新案畫引 **幾何學大辭典** 全一冊

●洋裝大判●正價參圓●小包料拾貳錢

日本大學校學友 高橋宮二君著

法律文例 註釋付 全一冊 大本 五百頁

●正價金六拾錢●郵稅金八錢

一民事訴訟法正文	全一冊	價十錢	郵稅二錢
一刑事訴訟法正文	全一冊	價十錢	郵稅二錢
一靈法、附屬法正文	全一冊	價十錢	郵稅二錢
一民法正文	全一冊	價十八錢	郵稅二錢
一改正商法、附屬正文	全一冊	價十四錢	郵稅二錢
一刑法正文	全一冊	價十錢	郵稅二錢
一裁判所構成法	全一冊	價十八錢	郵稅二錢
一府縣制郡制正文	全一冊	價十八錢	郵稅二錢
一徵兵令正文	全一冊	價十八錢	郵稅二錢
一戶籍法正文	全一冊	價十錢	郵稅二錢
一不動產登記法	全一冊	價十錢	郵稅二錢

日本法律學校內法政學會編纂

改正 **商法釋義** 全一冊 七百頁

●上製正價壹圓五拾錢●郵稅八錢

法典研究會編纂 法學士 丸尾昌雄主任

日本 **六法講義** 合本 全一冊

●洋裝金文字入紙數二千三百頁●正價參圓

●小包拾貳錢

五大法律學校講師法學博士
ハーバート小澤政許先生講述

民法講義 全一冊

●大判上紙七百頁●正價壹圓五拾錢●小包拾錢

法學士 林儀一郎著

改正 **刑法講義** 全一冊

●洋裝大判八百頁●正價九拾五錢●小包拾錢

明治大學講師大學院專攻 法學士 鵜澤聰明著

法學通論 全一冊

●洋裝大判約五百頁●正價壹圓五拾錢●小包料拾錢

高野清風著

歐米 **料理法全書** 附洋酒調合法

●洋裝大判千頁●正價參圓●小包料拾貳錢

東京中學校及研數學館數學專門教授 陸軍中尉松本小七郎先生著

普通教育 **代數學講義**

上卷、下卷●正價各參拾五錢宛●郵稅各四錢宛

白井義督著

數學公式及原理 全二冊

●正價參拾五錢●郵稅金四錢

英國チヤールス、スミス氏原著 日本 上野清譯補

◉新撰大代數學講義 全一冊

●洋裝金文字入●紙數一千五百頁●正價壹圓五拾錢

●小包金拾貳錢

現今代數學は數學全科目の大部分を占め數學の知識及び應用は代數學に因るに至れり而して代數書中に於て最も正確に最も簡明に最も完全に新知識を得べき最大便利の書は「チヤールス、スミス」氏の大代數學書とす故に現今の中學卒業程度の學生或は數學研究者の爲めに世に行はるる書は同氏の法式によらざるものなし本書は講述者が多年の經驗により「スミス」氏の最新版大代數書を增補講義せられたるものにして一般受驗生及び數學專門自修者の爲に代數學の要領を精細に講述し原書の欠を補ひ且つ最初に於て代數學の摘要を示したり故に原書の出版元倫敦「マクミラン」會社の承諾を得たり嵌て本書を「新撰大代數學講義」と題せり是れ講述者の自稱の知らしむるの必要を世に知らしむるの便利を與へられたり嵌て本書を「新撰大代數學講義」と題せり是れ講述者の自稱の題名にあらざるなり

文部省檢定試驗問題

初回より十九回迄合本

●國語漢文●家事裁縫●圖畫●簿記●物理化學●歷史●地理●英語●農業●數學●動植鑛

以上拾壹課目每册價三十錢宛●習字●手工●商業●音樂●教育●修身●體操●以上七課目每册二十錢宛郵稅二錢宛

山岡秀岳著

日本民法註釋 全

●價四拾錢●郵稅六錢

小林學堂著

日本新刑法註釋 全

●價四拾錢●郵稅六錢

法學博飯野謹一 森惣之祐著

改正 **刑事訴訟法註釋** 全

●價四拾錢●郵稅六錢

酒井勉著

民事訴訟法註釋 全

●價四拾錢●郵稅六錢

三ヶ月卒業

英語獨學び 全三冊

外國語專攻 山岡秀岳著

▲參ヶ月完結全部發行○壹ヶ月壹冊○壹ヶ月分四拾五錢郵稅四錢宛○參ヶ月分一時拂込郵稅免除す▲合本洋裝全一冊●價壹圓參拾五錢●小包料八錢

ABCの二十六字より綴字、單語、發音、會話、文法までを一通りは此本二冊を見れば覺えられる此本は誰にてもわかり易く原語に一々假名をつけて丁寧親切に說明がしてあるから容易に獨習が出來る英語は少しは知つて居らぬと不便である

通俗

肺病 花柳病 トラホーム 自宅療法

ドクトルメヂチーネ 宮田守治校閱 瀧澤陸子著

●廣美本●全一冊●正價參拾錢●郵稅六錢

通俗傳染病豫防書 全一冊

日本藥學協會講師 鴨田修治著

附消毒及傳染病規

●正價五拾錢●郵稅四錢

通俗

結核豫防書 全一冊

傳染病研究所長醫學博士北里柴三郎先生
傳染病研究所部長醫學士柴山五郎作先生

●菊判洋裝金文字入●正價壹圓八拾錢●郵稅拾錢

男女生殖健全法 全二冊

姉人專門科ドクトル 宮田守治先生
中央看護婦會長 松本安子先生

●密畫數個入●正價金壹圓拾錢●郵稅八錢

通俗衛生顧問 一名諸藥圖解術 全二冊

醫學士 丸山秀雄先生
東京板橋病院長 守田南洋先生
日本藥學協會講師 鴨田修治先生著

●上製金文字入●金九拾五錢●郵稅八錢

白文

文章軌範 正續全二冊

河村定靜校訂

附、作者小傳

●正價一冊拾五錢宛●郵稅一冊四錢宛

記事論說 祝辭弔祭

文章資料 全一冊

東京研學學會編纂

●正價參拾錢●郵稅六錢

中等教育

用器畫法 全四冊

竹下富次郎著

●上卷圖式解說●二冊正價六拾錢●小包拾錢
●下卷解法●二冊正價六拾錢

音樂獨習全書 全部四冊

山田武城作曲

●一冊正價參拾錢宛●郵稅四錢宛

既刊書目

○吹風琴獨習 全一冊
○寸風琴獨習 全一冊
○尺八獨習 全一冊
○唱歌及軍歌 全一冊

理化應用

製造顧問 全一冊

工學士 石神德治 日本藥學協會鴨田修治纂著

●正價九拾錢●小包八錢●上製金文字入●正價壹圓參拾錢●小包料八錢

工業須知 一冊

理學士 松井義方著

●洋裝金文字入類美本●正價壹圓五拾錢●並製八拾錢●小包料金八錢

中學高等女學校 國民學校 幼年學校

入學試驗問題解答 全一冊

堀口一洋著

●正價七拾錢●郵稅六錢

男女東京遊學案內 全一冊

酒井勉著 每年度改正

●正價五拾錢●郵稅六錢

東京苦學案內 全一冊

酒井勉著

●正價參拾錢●郵稅四錢

最新商業簿記 全一冊

（線式）

商學士 齋藤善三郎著

●正價八拾錢●郵稅八錢

商工業者債權取立案內 全一冊

（法典活用）

法論社長後藤本馬著

●洋裝美本●價壹圓五拾錢●小包料拾錢

刑事訴訟法原論 五版 全一冊

東京控訴院檢事法學士豐島直通先生著

●製本美麗菊判八百頁●定價金貳圓●小包料金拾貳錢

戰時國際公法 八版 全一冊

法學博士 高橋作衛著

●正價壹圓七拾五錢●小包料拾貳錢

參考官用簿記

商學士 齋藤善三郎著

●正價八拾錢●小包料八錢

農家要務案內 全一冊

（改訂）

津田南濤君著

附監業詳說

●洋裝美本●正價五拾錢●郵稅六錢

農家の副業と其方法 全一冊

農學博士 本田幸介校閱

農學士 豐田虎次郎著

農家之母主筆井關十二郎

●洋裝大判●價壹圓貳拾錢●小包料八錢

數學獨修

陸軍中將 子爵 東京中學校教務幹事 松本小七郎先生著

●正價各參拾八錢●郵稅各四錢●紙數約二百頁

○算術之部 ○代數之部

○幾何之部 ○三角之部

新體詩早學

大和田建樹著

●洋裝頗美本●正價金六拾錢●郵稅金六錢

巡查看守受驗案內

法學士 秋野沆著

●正價五拾錢●郵稅六錢

小學校に於ける 成績不良兒教育法

大瀧甚太郎校 脇田良吉著

●洋裝大本全一冊●正價壹圓參拾錢●小包料八錢

●近世受驗全書

●最新形袖珍携帶至便●一冊價拾五錢同十冊壹圓參拾五錢●廿冊貳圓六拾錢●廿冊參圓六拾錢●郵稅每冊貳錢宛

中學校、師範學校、高等學校、高等女學校、其他是等の學校に在學せらるゝ諸氏及び普通學を修めて以て之が試驗に應ぜられんとする準備の爲めに缺くべからざるは蓋し本書の外之あらざるべし本全書は斯道專門家の執筆に成りしものにて繁閑宜しきを得たる表解的に編成せられたるものなるも簡潔に過ぎて生理明晰を缺くが如き嫌なく文章は平易にして說明は親切を旨とし且つ携帶至便の最新形にして製本の堅牢紙質の佳良なるは勿論無二の低廉世に流在する書類と混同せらるなかれ。

東京修學堂書店新刊目錄

各篇書目

日本歷史　全下
日本地理　上下
四洋地理　上中下
外國歷史　全上
東洋歷史　上下
化學　全上
地質學　全下
物理學　全上
算術　全上
生物學　全上下

鑛物學　全
日本史年表　上下
西洋史年表　上下
東洋史年表　上下
平面幾何學　全上下
三角術　全
漢文典　全
英文典　全
國文典　全
立體幾何學　全
英作文及會話　全

會頭正四位子爵戶田忠義母堂戶田愛子

●女子學藝全書　全五冊

●長谷川古次郎著　**女子算術講義**　全一冊
●正價金六拾錢●郵稅六錢

●大和田建樹校閱　**女子文の栞**　全一冊
●正價金參拾錢●郵稅六錢

●大谷貞子著　**和洋料理栞**　全一冊
●正價金參拾錢●郵稅六錢

●大谷貞子著　**女子諸體の栞**　全一冊
●正價金參拾錢●郵稅六錢

●大谷貞子著　**女子家政の栞**　全一冊
正價金參拾錢●郵稅六錢

學術に手藝に苟くも女子が學生として良妻賢母として學藝を修め内政を掌り女子の本分を盡すに於て之が良師たらんことを期して生れ出でたるは本書なり此書の類世に少からずと雖も何れも一方に偏するを憾むとて著者の實驗上に成りたるものなれば最も適切ならん事を期せり世の姆母たるものは之に依りて以て講究せば得る所大なるべし

村田徹典　川田庸編

百號百中　**人間一生運氣之考**

●價參拾錢●郵稅四錢

書名	著者	冊數	代價
算術講義	東京中學教務幹事松本小七郎	全一冊	十錢
代數學講義	研數學館長奧平浪太郎	全	一圓
平面幾何學講義	同	全	一圓
立體幾何學講義	同	全	一圓
三角法講義	同	全	一圓
微分學講義	帝國大學敎授法學博士	全	一圓五十錢
積分學講義	同	全	一圓
解析幾何學講義	同	全	一圓五十錢
球面三角法講義	同	全	一圓五十錢
測量術講義	工學士影山穗作	全	一圓廿錢
新選大代數學講義	チヤルスミス原著 上野清補譯	全	一圓五十錢
小倉延足	農學士	全	一圓廿錢
物理學講義	理學士東海林岸太郎	全	一圓廿錢
化學講義	理學士杉谷佐五郎	全	一圓
最新無機化學講義	理學士廣中宗太	全	六十錢
最新有機化學講義	同	全	六十錢
算術講義	師林治一	全一冊	十錢
代數學講義	日本文法講義	全	一圓廿錢
平面幾何學講義	師小澤政許	全	一圓五十錢
立體幾何學講義	民法講義	全	一圓
最新實用農業講話	農學士大澤誠太郎	全	九十錢
三角法講義	簡易帝國大學敎授法學博士和田垣謙三	全	一、圓
法制講義	法學士庄司一久	全	一圓廿錢
最新生理學講義	醫學士庄司久	全	九十錢
法學通論	法學士鵜澤聰明	全	一圓五十錢
三ヶ月修曾通作文新書	文學士山岸辰藏	全	九十錢
獨逸大學敎授和田垣謙三	帝國大學敎授法學博士	全	一圓廿錢
經濟講義	醫學士庄司久	全	一圓廿錢
最新解剖學講義	同	全	九十錢
英語學獨修講義	研數學館外國語科	全	七十錢
論理學講義	文學士松平桃蹊	全	一圓廿錢
倫理學講義	文學士大島政德	全	一圓廿錢
漢學講義	文學士松平桃蹊	全	一圓六十錢

●以上廿九課目は當代に於て名聲嘖々たる博士學士が各自專攻の學科を多年實驗に依り丁寧親切を旨として材料豐富學說最新行文平易記事正確以て獨修者をして一點の疑團たも無からしめん事を期す

東京高等師範學校教授 文學士 大瀬甚太郎先生校
元東京樂石社特殊教育研究部主任 脇田良吉著

小學校に於ける 成績不良兒教育法

◎洋裝大判 正價金壹圓卅錢
◎四百頁 小包金八錢

數年來教育者間に唱道されたる低能兒教育の聲、一時大なる火の手をあげしが、目下稍々下火になれるもの、如し、是れ低能兒教育の不必要に歸したるにあらずして、該問題の研究者が愼重の態度を取れるにあり、默していはざるにあり、而して又一面には研究の困難を意味せるにあり。現に東京高等師範學校附屬小學校の如きは、昨秋より實施されしと、普通の參觀者を謝絶せられつゝあるが如きは其一例にして、斯の問題が如何に重要にして愼重の態度を取らざるべからざるかは、此の一事を以ても知るを得べし。

實に低能兒教育は國民教育の消極的事業にして、完全なる國民教育には必らず相當の發展を期せざるべからず、是れ熱誠なる教育家の片時も忽諸に附すべからざる問題といふべし。されど斯の問題たるや、我國教育者間に唱道されて以來、日尚淺きにより、一定の見識を有するの人甚だ稀なり。著者は久しく小學教育に從事せられたる人にて、其間常に成績不良兒のために多大の同情を寄せられ、數年來東都に於いて諸大家指導の下に專心研究され、今や大に發明さるゝ處あり、茲に獨創の見識を以て、混沌たる國民教育界の革進を促されんとするものゝ如し。

此の人の手に成りたる本書の內容は『第一編』よりなりて其一編には、劣等兒と低能兒の區別より、低能兒の意義、低能兒の種類、低能兒の鑑別法等を心理學、醫學、教育學、教育病理學等の各方面より通俗に詳解し。第二編には我國に於ける成績不良兒教育の概況を紹介し。第三編には、女學校に於ける成績不良兒を、團体的には如何に教育し、個人的には如何に救濟すべきかを、小學校にて實行し得べき範圍に於いて記述したるものにて、文章の平易簡明、所說の理論に奔らず、偏目に陷らずして、實際的なるは多年の苦心を積まれたるの結果にして、一讀教育上の一大眞理を捕捉する事を得べし。倚本書は小學校教師の必讀書たるのみならず、校醫其他愛兒の教育に注意を拂はるゝの良家庭には必備の好著書たるを疑はざるなり。

◎記事の內容（新學の蘊奥なるも一讀能く意を解し得て忽ち其如何なるを了知すべきは最も平易通俗にして簡潔ならんことを欲し稿を換ふること再三再四始めて本編をなす而も所說最も親切丁寧を極め一字一句を苟且に付せず故に一度本書を繙かば暗夜に燈明を得たるが如く又暗雲忽ち散じて明爛々たる天日を望むの感あるは信じて疑はざる所なり）

執筆專門大家五十三名

新撰百科全書

全部百冊毎册正價金參拾五錢毎冊郵税金六錢

一	日本歷史	全
二	東洋歷史	全
三	西洋歷史	全
四	日本地理	全
五	外國地理	全
六	教育學	全
七	參考用器畫法	全
八	應用電氣學	全
九	蒸汽機關學	全
一〇	實用機械學	全
一一	建築學	全
一二	土木學	全
一三	鑛山學	全
一四	應用製圖法	全
一五	應用分析術	全
一六	實用裁縫全書	全
一七	實用編物全書	全
一八	最新女子書翰文	全
一九	最新女子記事文	全
二〇	言文一致女子書翰文	全
二一	女子文之栞	全
二二	女子家政の栞	全
二三	女子禮法の栞	全
二四	和洋料理栞	全
二五	法學通論	全
二六	憲法釋義	全
二七	民法釋義	全
二八	商法註釋	全
二九	刑法刑事監獄法釋義	全
三〇	戶籍法問答（附取扱手續及書式）	全
三一	市制町村制講義	全
三二	府縣制郡制釋義	全
三三	通俗養蠶法	全
三四	民事訴訟法釋義	全
三五	（契約賣買作成案內 諸願屆申請書式）	合本
三六	實用珠算全書	全
三七	算術問題詳解	全
三八	代數問題詳解	上
三九	代數問題詳解	中
四〇	代數問題詳解	下
四一	平面幾何問題詳解	上
四二	平面幾何問題詳解	下
四三	立體幾何問題詳解	全
四四	平面三角問題詳解	全
四五	最近七ヶ年數學問題答案	全
四六	物理計算問題詳解	全
四七	化學計算問題詳解	全
四八	和漢朗吟詩詳解	全
四九	最新書翰文	全
五〇	記事論說壹萬題	全
五一	（姿勢公會演說 圖解雄辯討論法）	全
五二	國語漢文獨習自在	全
五三	一字千金作文錦嚢	全
五四	言文一致明治書翰文	全
五五	立志成効商業百話	全
五六	獨逸語三ヶ月自修書	全
五七	最新日英書翰文	全
五八	英和實用單語集	全
五九	英和會話活法	全
六〇	和文英譯正解	全
六一	英文和譯正解	全
六二	英和熟語正解	全
六三	英和熟句正解	全
六四	英和俗語正解	全
六五	前置詞正解	全
六六	算術捷徑	全
六七	祝辭弔祭壹萬題	全
六八	西國立志編	全
六九	正則獨逸文法講義	全
七〇	正則獨逸語獨修	全
七一	中學校、幼年學校、高等女學校入學豫習書	全
七二	（發音引）假名遣辭典	全
七三	漢學捷徑	全
七四	通俗養鷄法	全
七五	方丈記讀本附註解	全
七六	徒然草讀本附註解	全
七七	百人一首註解	全
七八	土佐日記讀本附註解	全
七九	竹取物語讀本附註解	全
八〇	和歌獨學び	全
八一	俳諧獨學び	全
八二	佛蘭西語獨學	全
八三	熟語類集美文の錦	全
八四	四季和洋菓子製法案內	全
八五	最近官私小學卒業後男女就職成功法	全
八六	尋常卒業後實用作文	全
八七	通俗牧畜全書	全
八八	スケッチ圖畫速寫法	全
八九	作詩作文法	全
九〇	最新商農書翰文	全
九一	十六夜日記讀本附註解	全

◎每册完結（每册悉く完結するを以て讀者諸氏が任意に欲する所のものを購讀することを得べく之を讀通すれば最も短時日に其智識を習得し恰も其專門の師に就きて口授を受くると異なることなし故に山間僻邑の地にても之を以て各々其智識を修得して餘あるべし）

259
113

普通教育全科講義

●前期●後期　全部五拾錢

學科三十三課目●各科單行本もあり擔任講
述者及書名等詳細の方は郵稅貳錢を要す

普通教育學會編纂

男女 東京遊學案内

正價五拾錢　郵稅六錢

數多き學校の中何れに入學せば遊學の目的
を達し得べきは何人も先づ知らんと欲する
處なり本書は此目的に答へて詳細且つ親切
に紹介の勞を取れり

酒井勉著

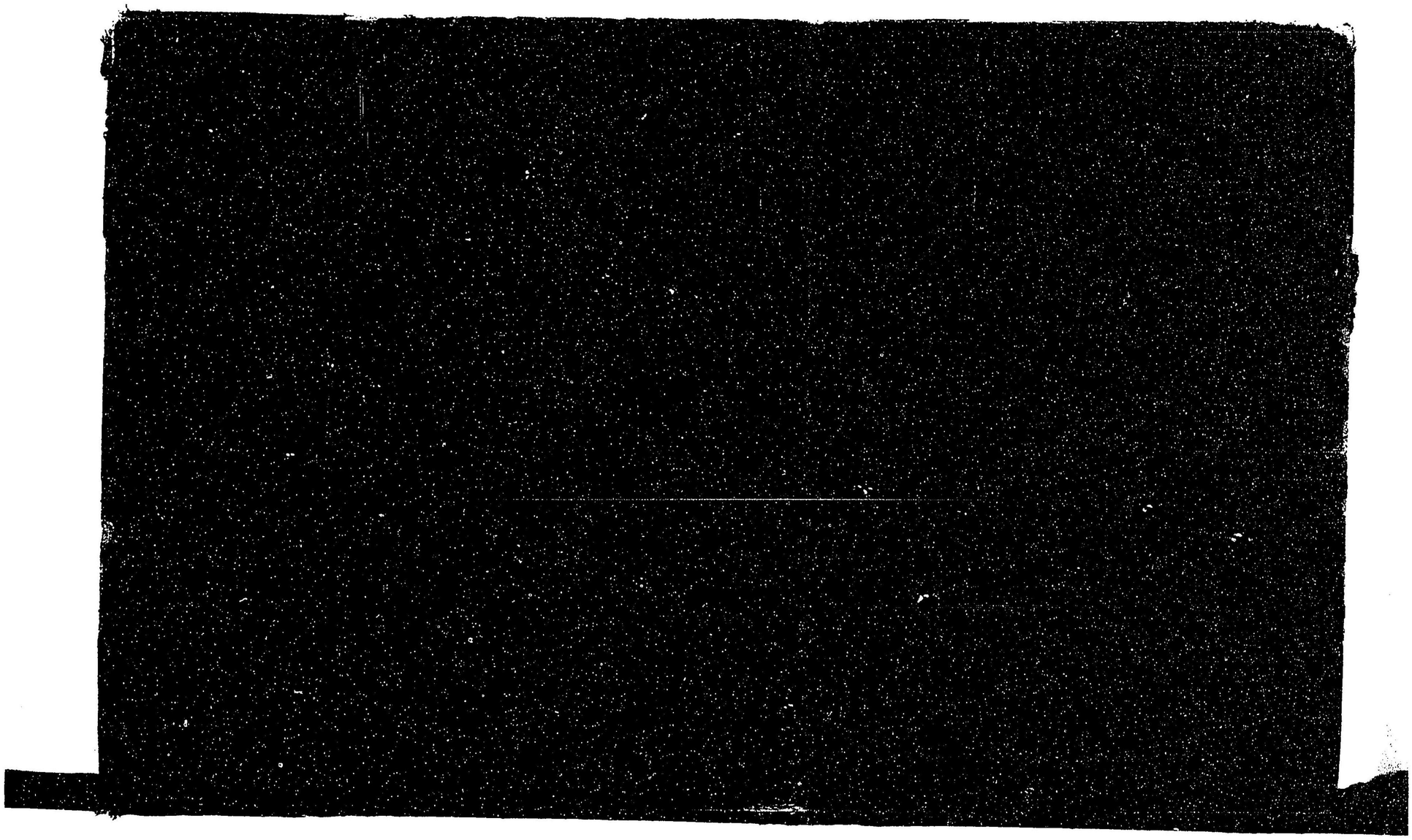
東京苦學案内

正價參拾錢　郵稅六錢

著者は苦學十年業漸く成りて今や社會の重
要なる地位にある人今此書を公にして半生經
の紀念となせしものなり苦學生に對する驗
業方針を設けて餘す處なし後進の士に告いて其
說を聽かれよ

發兌　（東京市神田區錦町　振替口座三二八番）　修學堂

259
113



259
113
M